

## 取扱説明書

---

LSX

---

# 目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>4</b>
<b>2. 一般事項</b> .....	<b>5</b>
2.1 取扱説明書の利用と保管 .....	5
2.2 シグナルマークとワードの定義 .....	5
<b>3. 安全性</b> .....	<b>6</b>
3.1 適切なご使用 .....	6
3.2 安全上のご注意 .....	6
3.2.1 電気の安全に関するご注意 .....	6
3.2.2 電池に関するご注意 .....	7
3.2.3 一般的な安全のご注意 .....	8
3.2.4 電磁気による障害 .....	9
3.2.5 FCCステートメント .....	9
3.2.6 FCC放射線被ばくに関するステートメント .....	10
3.2.7 ICステートメント .....	10
3.2.8 IC 放射線被ばくに関するステートメント .....	10
<b>4. 箱の内容物と開梱</b> .....	<b>11</b>
<b>5. 操作と接続</b> .....	<b>12</b>
5.1 フロントパネル .....	12
5.2 バックパネル .....	13
5.3 リモートコントロール .....	14
<b>6. ステータスの表示 (LEDインジケーター)</b> .....	<b>15</b>
<b>7. LSXを初期設定する</b> .....	<b>16</b>
7.1 スピーカーのインストール .....	16
7.2 スピーカーの設置 .....	16
7.3 KEF アプリのインストール .....	17
7.4 Wi-Fiのセットアップ .....	17
7.4.1 インターネットのネットワーク条件 .....	17
7.4.2 Android及びiOS (AirPlay 2以外) での方法 .....	18
7.4.3 iOS (AirPlay 2) での方法 .....	20
7.5 ワイヤレスでのファームウェアアップデート .....	21
7.5.1 自動アップデートアラート .....	21
7.5.2 手動でアップデートを確認する .....	22
7.6 Wi-Fiなしでセットアップする .....	23
<b>8. インターフェースのコントロール</b> .....	<b>24</b>
8.1 Using KEF アプリを使用する .....	24
8.1.1 ホーム画面 .....	24
8.1.2 サウンドの最適化: EQ設定 .....	25
8.1.3 スピーカー設定の調整 .....	31
8.2 リモートコントロールの使用 .....	36
8.2.1 電池の交換 .....	36
<b>9. 再生とストリーミング</b> .....	<b>37</b>
9.1 Wi-Fiで再生する .....	37
9.1.1 KEF Streamアプリを使用する .....	37
9.1.1.1 ホーム画面 .....	37
9.1.1.2 メインメニュー .....	38
9.1.1.3 再生画面 .....	39

9.1.1.4	接続デバイスから音楽を再生する (ライブラリ)	40
9.1.1.5	メディアサーバーから音楽を再生する	40
9.1.1.6	TIDALから音楽を再生する	40
9.1.1.7	Spotifyから音楽を再生する	41
9.1.1.8	お気に入り	41
9.1.1.9	履歴	41
9.1.1.10	トラックリスト	42
9.1.1.11	プレイリスト	44
9.1.1.12	設定	47
9.1.2	AirPlay 2でストリーミングする	48
9.1.3	Spotify Connect でストリーミングする	49
9.1.4	Qplayでストリーミングする	50
9.1.5	Roonでストリーミングする	51
9.1.6	DLNAでストリーミングする	51
9.2	Bluetoothで再生する	52
9.2.1	Bluetoothモードを選択する	52
9.2.2	Bluetoothのペアリング設定	52
9.2.3	再生コントロール	53
9.3	光デジタル入力で再生する	54
9.3.1	光ケーブル接続	54
9.3.2	光デジタルモードの選択	54
9.4	AUX入力で再生する	54
9.4.1	3.5mm Audio ケーブルで接続する	54
9.4.2	AUXモードの選択	54
<b>10.</b>	<b>お手入れとメンテナンス</b>	<b>55</b>
<b>11.</b>	<b>保管</b>	<b>55</b>
<b>12.</b>	<b>よくあるご質問とトラブルシューティング</b>	<b>56</b>
12.1	設定とネットワーク接続について	56
12.2	オペレーション	60
12.3	KEF Control アプリとKEF Stream アプリ	64
12.4	メンテナンス	64
12.5	コメントとリクエスト	65
12.6	トラブルシューティング	65
12.7	工場出荷時設定へのリセット	68
12.8	LED インジケーター	69
<b>13.</b>	<b>仕様</b>	<b>72</b>
<b>14.</b>	<b>廃棄について</b>	<b>74</b>
14.1	梱包材の廃棄	74
14.2	スピーカーの廃棄	74
14.3	バッテリーの廃棄	74
<b>15.</b>	<b>付録</b>	<b>75</b>
15.1	表示マークの説明	75
15.1.1	警告・注意マーク	75
15.1.2	国・地域別マーク	75
15.2	ホームオートメーション・コントロールシステムとの統合	77
15.3	IR コマンドコード	78

# 1. はじめに

KEF ワイヤレス ハイレゾリューションスピーカーシステム - LSXをお選び頂きましてありがとうございます。  
います。

KEFを他のメーカーから際立たせているのはイノベーションです。50年以上に渡りKEFはスピーカーの研究開発における最前線にあり、最新の音楽フォーマットの再生に挑戦する業界をリードするスピーカーをデザインし、最高の音質をお届けしてきました。この歴史は、デジタル音楽隆盛の現代、私達のコンパクトかつパワフルなスピーカーシステム、LSXと共に今日へと引き継がれています。

この取扱説明書をよくお読みの上、説明内容に従ってスピーカーシステムをご使用下さい。

## 2. 一般事項

### 2.1 取扱説明書の利用と保管



この取扱説明書は LSXスピーカーシステム（以下「スピーカー」）に添えられており、セットアップ及び取り扱いに関する重要な情報を記載しています。

スピーカーのご使用前にこの説明書をよくお読み下さい。安全に関する説明には特にご注意下さい。十分に内容をご理解頂かない事は、怪我やスピーカーの損傷につながる恐れがあります。

今後のご利用の為にこの説明書は保管して下さい。スピーカーを第三者へ譲渡する際には、必ずこの説明書も添えてお渡し下さい。

### 2.2 シグナルマークとワードの定義

この説明書では、以下のマークやシグナルワードが使用されています。



**警告!**

このシグナルマークやワードは、回避しない場合に重大な怪我や死に至る恐れがある危険の中程度のリスクがある事を示しています。



**注意!**

このシグナルワードは物的損傷の恐れがある事を警告しています。



このシグナルワードでは、取り扱いやご使用に関する役に立つ追加情報を提供します。

## 3. 安全性

### 3.1 適切なお使用

このスピーカーは、個人の屋内における使用のみを対象としており、商業的な目的には適しておりません。

スピーカーはこの説明書に記されている方法でのみご使用下さい。それ以外の使用は不適切と見なされ、製品の破損や怪我につながる恐れがあります。スピーカーは玩具ではありません。

製造業者ないし販売会社は、不適切、又は誤った使用によって生じた損害に対して、いかなる責任も負いません。

### 3.2 安全上のご注意

#### 3.2.1 電気の安全に関するご注意



#### ▲ 警告!

#### 感電の恐れがあります!

スピーカーの不適切な取り扱いは感電につながる恐れがあります。

- 警告：火事や感電のリスクを軽減するため、この製品を雨や湿気にさらさないで下さい。
- 注意：感電のリスクを抑えるため、カバー（又は背面）を外さないで下さい。製品内部にお客様ご自身で扱えるパーツはありません。修理等は正規のサービス業者にお問い合わせ下さい。
- 電源コードセット及びご使用の国に対応した電源プラグが提供されています。
- 電源をつなぐ前に、ご使用になる場所の電力ボルトが製品の下面に記されているものと同じである事をご確認下さい。異なる場合にはご使用の前にサプライヤーにお問い合わせ下さい。
- この製品は保護接地接続の電源ソケット又はコンセントにつなぐようにして下さい。
- スピーカーのインストール又は操作の前に、同封書類下面の電気と安全に関する情報をご参照下さい。
- 問題が生じた際に電源の供給源から直ちに取り外す事ができるように、スピーカーはアクセスしやすい電源ソケットやコンセントのみにつないで下さい。
- スピーカーが破損していたり、電源ケーブルやプラグに欠陥がある場合にはご使用にならないで下さい。

- 電源プラグを濡れた手や湿った手で絶対に触らないで下さい。
- コンセントから電源プラグを抜き取る際には、ケーブルを引っ張るのではなく、常にプラグごと引き抜いて下さい。
- 電源ケーブルを持ってスピーカを動かしたり、引っ張ったり、運んだりしないで下さい。
- つまづく危険がないように、電源ケーブルは平らに設置して下さい。
- 電源ケーブルをもつれさせたり、尖った角に置かないようにして下さい。
- スピーカーは屋内でのみ使用し、湿度の高い部屋や雨の中での使用はお控え下さい。

### 3.2.2 電池に関するご注意



飲み込むと危険



#### 爆発、怪我、損傷の恐れがあります！

電池の不適切な取り扱いは、爆発や液漏れ、深刻な怪我及び物的損傷の可能性を高めます。

- 当製品のリモコンにはコイン/ボタン型電池が入っています。もしコイン/ボタン型電池を飲み込んだ場合、わずか2時間で深刻な体内やけどを引き起こし、死に至る事もあり得ます。
- 不適切な方法での電池交換は爆発の危険性があります。交換は同じ製品、又は同等タイプの電池とのみ行ってください。
- 電池を飲み込まないで下さい。化学変化による火傷の危険性があります！
- 新品及び使用済みの電池はお子様手の届かない所に置いて下さい。
- 電池の仕切りがきちんと閉まらない場合にはリモコンの使用を止め、お子様の手の届かない場所に置いて下さい。
- 万が一電池を飲み込んだり、体内のどこかにあると思う場合は、速やかに病院を受診して下さい。
- 使用済み電池は直ちに処分して下さい。
- 直射日光や火気など過度の熱に電池をさらさないで下さい。

### 3.2.3 一般的な安全のご注意

#### ▲ 警告!

#### 怪我や損傷の恐れがあります!

スピーカーの不適切な使用は怪我や損傷の危険性を高めます。

- 説明書をお読み下さい
- 今後必要な時の為に説明書は保管して下さい。
- スピーカー上、及び製品に関する全ての書類を読み注意を払って下さい。
- 全ての指示に従って下さい。
- 水の近くでスピーカーを使用しないで下さい。
- スピーカーを水滴や水しぶきにさらさず、花瓶等の液体の入った物をスピーカーの上に置かないで下さい。
- お手入れは乾いた布のみで行って下さい。
- 通気口を塞がないで下さい。製造業者による説明に従って設置や取付を行って下さい。スピーカーが確実に作動し、又オーバーヒートから守る為に、スピーカーは適切な通気を妨げない場所に配置して下さい。
- ヒーターやヒートレジスター、ストーブ、又は熱を発するその他の機器（アンプを含む）の熱源の近くに設置しないで下さい。
- 湿気及び極端な低温や高温、直射日光を避けて下さい。
- ケーブルを引きずる事は危険ですので、全てのケーブルを固定して下さい。
- 火のついたろうそく等の発火物をスピーカーの上に置かないで下さい。
- （一部の市場のお客様のみ）分極プラグやアース付きプラグの安全機能を無効にしないでください。分極プラグには二つのブレードがあり、片方のブレードは幅が広がっています。アース付きプラグには二つのブレードとアース端子があります。幅広のブレードやアース端子はお客様の安全を守る為のものです。付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合には、旧式コンセントの交換について電気専門業者にお尋ね下さい。
- 電源ケーブルが踏まれたり、特にプラグ部分やアウトレットボックス、又スピーカーからケーブルが露出している場所が圧迫されないようにして下さい。
- 電源プラグや電源接続器は、スピーカーの電源を完全に切ることが容易にできるように設置して下さい。
- 製造業者に指定された付属品やアクセサリのみを使用して下さい。

-  製造業者に指定された、又はスピーカーと共に販売されたカート、スタンド、三脚、取付器具、又は机のみを使用して下さい。カートを使用する際には、転倒して怪我をしないようにカートとスピーカー両方の作動状態に注意して下さい。
- 雷雨の際、又は長期間使用しない場合は、スピーカーの損傷を避ける為にコンセントを抜いて下さい。
- 全ての点検は資格のあるサービス業者に委託して下さい。電源ケーブルやプラグが損傷した場合や、液体をこぼしたりスピーカーの上に物が落ちた時、スピーカーが雨や湿気にさらされた時、正常な動作をしない時、又はスピーカーが落下した場合等、何らかの理由でスピーカーが損傷した際には点検が必要です。ご自身で点検や修理をされないで下さい。カバーを開けたり外したりする事は、お客様自身が危険な電圧にさらされたり、その他の危険性が生じる可能性があります。お近くの認定されたサービスセンターをご紹介致しますので、KEFへご連絡下さい。

### 3.2.4 電磁気による障害

この製品の通常の機能は、強い電磁気の障害によって妨げられる事があります。その際には、説明書に従って製品をリセットする事で通常機能を回復させて下さい。もし機能が回復しない場合には場所を変えてご使用下さい。

### 3.2.5 FCCステートメント

この機器は、FCC規則第15章に準じたクラスBデジタル機器の制限に関する規制要件に基づいた試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの制限は居住環境での設置における有害な障害からの適切な保護を行う為に策定されています。この機器は無線周波エネルギーを発生、使用、放射させる事があり、指示に従った取り付けや使用がされない場合には無線通信に有害となる障害を引き起こす可能性があります。しかし、特定の取り付けや設置において障害が引き起こされない保証はありません。無線やテレビの受信に有害となる障害を引き起こしているか否かは機器の電源の入り切りを行う事で確認でき、もし障害がある場合には、お客様は下記のいずれかの方法で障害の修正を行って下さい。

- 受信アンテナの向きや位置を変える
- 機器とレシーバー間の距離を広げる
- レシーバーが使用している物とは別回線のコンセントに機器をつなげる
- 販売業者又は経験のある無線やテレビの技術業者に相談する

このデバイスは、FCC規則第15章に準拠しており、操作は下記の2つの状況下で行われる必要があります。

1. このデバイスが有害となる障害を引き起こさない。かつ
2. 望まない操作を引き起こす事も含むいかなる障害も受け入れる。

### 3.2.6 FCC放射線被ばくに関するステートメント

このデバイスは、非管理下における環境の為に規定されているFCC放射線被ばく規制に適合しており、FCC RF規則第15章に準拠しています。この機器は備え付けの説明書に従った取り付け及び操作を行われなければなりません。トランスミッターに使用されるアンテナは、人体から少なくとも20 cmの距離をとって取り付けられる必要があります、他のアンテナやトランスミッターと同じ場所に設置されたり同時に操作されてはいけません。エンドユーザーや取り付けを行う方はアンテナ設置の説明書を必ず提供される必要があります、共同配置の禁止を示す文書は取り除くことができます。

このデバイスはRSS102の2.5項及びRSS-102 RF被ばくのコンプライアンスにおける所定の査定規制の免除に相当し、又、ユーザーはRF被ばくとコンプライアンスに関するカナダの情報を入手する事ができます。

モバイルサテライトシステムの同一チャンネルに有害となり得る障害を抑える為、5150-5250 MHz帯におけるオペレーションのデバイスは、屋内での使用のみを目的としています。

取り外し可能なアンテナを備えたデバイスに関し、5725-5850 MHz帯でのデバイスに許可される最大アンテナは、適切なポイントツーポイント、及び非ポイントツーポイントオペレーションに対して既定のe.i.r.p制限に準拠した機器でなければなりません。

**注意!**コンプライアンスの責任者によって明確に許可されていない変更や修正は、ユーザーがこの機器を操作する権限を無効にする可能性があります。

### 3.2.7 ICステートメント

このデバイスは、カナダ政府産業省のライセンス免除RSSに準拠しており、操作は下記の2つの状況下で行われる必要があります。

1. このデバイスが有害となる障害を引き起こさない。かつ
2. 望まない操作を引き起こす事も含むいかなる障害も受け入れる。

このトランスミッターは、他のアンテナやトランスミッターと同じ場所に設置されたり同時に操作されてはいけません。又、この機器はラジエーターや人体から最低20 cm以上の距離をとって設置及び操作される必要があります。

### 3.2.8 IC 放射線被ばくに関するステートメント

この機器は非管理下における環境の為に規定されているIC RSS-102放射線被ばく規制に適合しており、ラジエーター及び人体のいかなる部分からも最低20 cm以上の距離をとって設置及び操作されなければなりません。

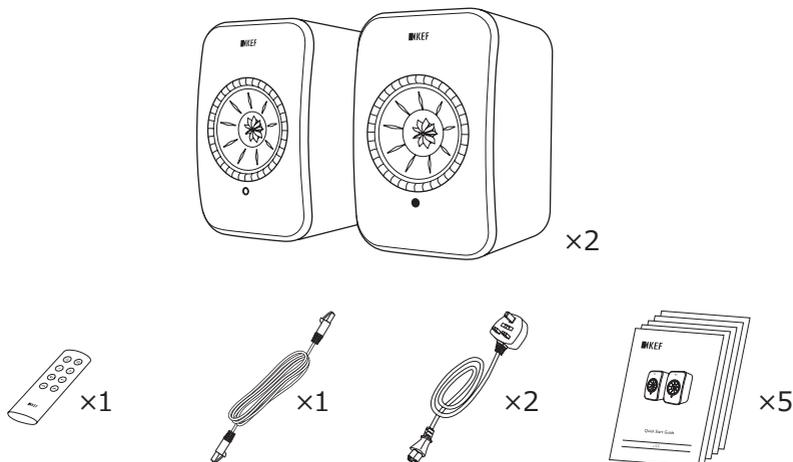
## 4. 箱の内容物と開梱

### 注意!

#### 損傷の恐れがあります!

鋭利なナイフや他の尖った物を使用しての開梱はスピーカーを損傷させる恐れがあります。

- 梱包の開封は注意深く行って下さい。パッケージ上の説明に従い、Uni-Qドライバー（スピーカーコーン）の損傷を避ける為、側面からスピーカーを持ち上げて下さい。

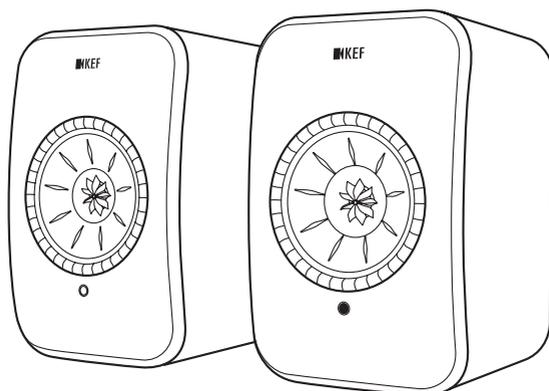


1. 梱包からスピーカーを取り出して下さい。
2. 下記の全てのパーツが入っている事を確認して下さい。
  - スピーカー×2（プライマリースピーカー ×1 セカンダリースピーカー×1）
  - リモートコントロール\* ×1
  - スピーカー間ケーブル ×1（長さ3 m）
  - 電源ケーブル ×2（長さ2 m： ご使用の国に対応した電源プラグ付き）
  - 印刷物：クイックスタートガイド、重要安全事項の説明、仕様書、保証内容書、クヴァドラファブリックのメンテナンスガイド
3. スピーカーや各パーツに損傷がないかご確認下さい。もし損傷があった場合にはスピーカーを使用せず、保証内容書に記載された問い合わせ先をご参照の上、販売業者にご連絡下さい。

\*ご使用前に電池入れから絶縁ラベルを取り除いて下さい。

## 5. 操作と接続

### 5.1 フロントパネル



セカンダリスピーカー \*

プライマリスピーカー #

- LEDインジケータは各スピーカーにあり、Uni-Qドライバー（スピーカーコーン）の下部に位置しています。
- リモコン用のIR（赤外線）レシーバーは、LEDインジケータに位置しています。



セカンダリスピーカーのLEDインジケータは下記の場合のみ点灯します。

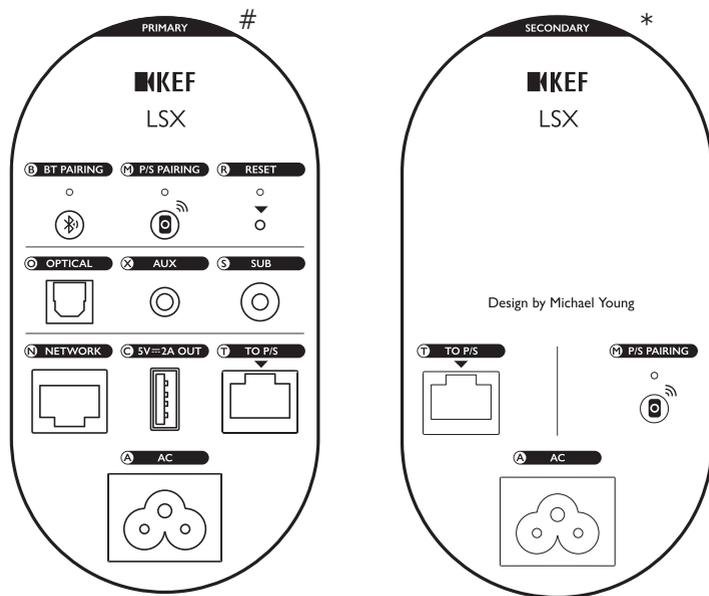
- セカンダリスピーカーが起動時に電源に接続され適切に機能している場合。LEDインジケータは短時間オレンジに点灯した後、消滅します。
- エラーが生じた場合。

セカンダリスピーカー上のLEDインジケータは、通常の操作中に点灯する事はありません。

# 以前の表記はマスタースピーカー

\* 以前の表記はスレーブスピーカー

## 5.2 バックパネル



操作と接続部分は、表示の通り各スピーカーのバックパネルにあります。

<b>B</b> ブルートゥース・ペアリングボタン	ブルートゥースのペアリングができます。スピーカーを新たなデバイスにつなぐ事ができ、ブルートゥースにつながっていた他のデバイスは切断されます。
<b>M</b> マスター・スレープペアリングボタン	接続が切断された際に、プライマリースピーカーとセカンダリースピーカー間の接続を再度行います。
<b>R</b> 工場出荷時設定リセットボタン (小さい穴の中)	スピーカーを工場出荷時の状態にリセットします。
<b>O</b> 光入力ポート	光ケーブル (含まれていません) を通して音源(テレビ*やゲーム機等)からのオーディオケーブル入力を再生します。
<b>X</b> AUX入力ジャック	3.5 mmオーディオケーブル (含まれていません) を通して、オーディオ入力 (フォンステージ等) からの音源を再生します。
<b>S</b> サブウーファー出力ジャック	RCAケーブル (含まれていません) を通してサブウーファーをスピーカーに接続します。
<b>N</b> ネットワークポート	LANケーブル (含まれていません) をつないだルーターにスピーカーを接続します。

# 以前の表記はマスタースピーカー

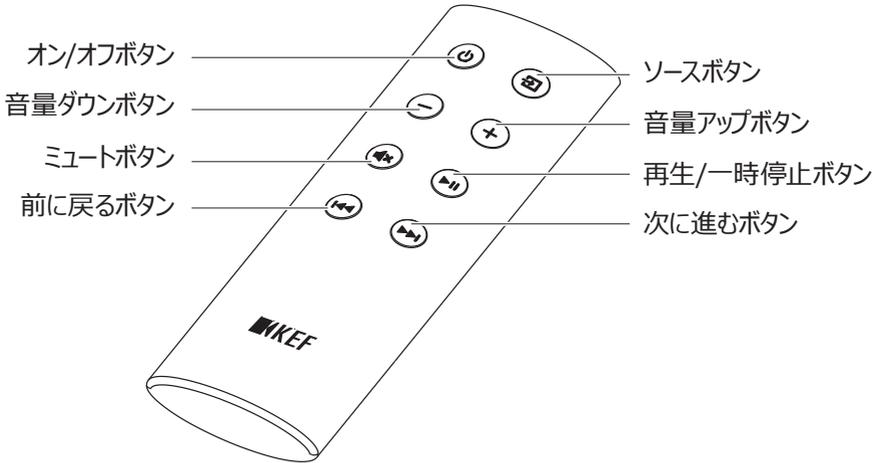
\* 以前の表記はスレープスピーカー

<b>C</b> USB パワーポート (5 V --- 2 A)	互換性のあるモバイルデバイス等を充電します。スピーカーが Standby Mode (スタンバイモード)の時に充電をする事はできません。
<b>T</b> マスター/スレーブへのコネクションポート	マスターとセカンダリースピーカーをスピーカー間ケーブルでつなぎます。
<b>A</b> AC入力コネクター	電源ケーブルでスピーカーを電源につなぎます。

\*テレビがPCMフォーマットで出力用のデジタルオーディオにセットされている事をご確認下さい。詳細はテレビの説明書をご参照下さい。

- i** スタンド及び壁への取付用のねじ穴 (1/4-20 UNC)が各スピーカーの下面にあります。[「スピーカーのインストール」](#)の章をご参照下さい。

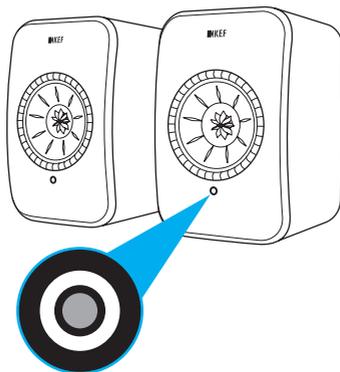
## 5.3 リモートコントロール



- i** ご使用前に電池入れから絶縁ラベルを取り除いて下さい。

## 6. ステータスの表示 (LEDインジケータ)

接続と操作の状況は、プライマリースピーカー上のLEDインジケータの色とパターンによって容易に確認することができます。



カラー表示	状態
白色とオレンジ色が交互に点滅	スピーカーはWi-Fiネットワークに接続する準備ができています。スピーカの設定をする為にKEF Controlアプリを起動して下さい。
オレンジ色に点灯	スピーカーはスタンバイモードでWi-Fiネットワークに接続されています。
白色に点灯	スピーカーはWi-Fiモードです。
緑色に点灯	スピーカーはSpotify Connectモードです。
青色に点灯	スピーカーはBluetoothモードで、デバイスは既にスピーカーとペアリングされています。
紫色に点灯	スピーカーは光入力 (Optical) モードです。
黄色に点灯	スピーカーはAUXモードです。



全ての色やパターンのリストは「LED インジケータ」の章をご覧ください。

## 7. LSXを初期設定する

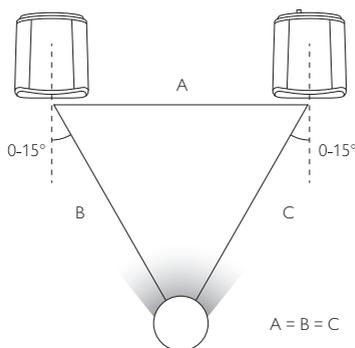
### 7.1 スピーカーのインストール

- スピーカーは振動のない平らな場所の上に設置して下さい。
- スピーカーは立てた状態で、又は壁に備え付けることができます。各スピーカーの下面にねじ穴(1/4-20 UNC)がございます。

警告: スピーカーの転倒や落下は怪我や物的損傷につながる可能性があります。十分にご注意下さい。

### 7.2 スピーカーの設置

2つのスピーカーはプライマリースピーカーとセカンダリースピーカーとして区別されます。初期設定においてプライマリースピーカーは右のチャンネルで\*、お客様から向かって右側に設置されるようになっています。最高のステレオ体験やサウンドステージには、1メートルから3メートルの距離をとってスピーカーを設置して下さい。



スピーカーとリスナーの最適な距離は、プライマリースピーカーとセカンダリースピーカー間の距離によって決まります。リスナーとの間に正三角形ができるように同じ距離を取ることをおすすめします。

\*左右のチャンネルはKEF Controlアプリによって交換する事ができます。「[左右のスピーカーの反転](#)」の章をご覧ください。



#### 2つのスピーカー間の最大距離

ワイヤレスモード (Wireless Mode) 最長5メートルで、Wi-Fi やブルートゥースを含むRF障害によって距離は短くなる事があります。

ケーブルモード (Cable Mode) Cat-6のイーサネットケーブルで接続して下さい。ケーブルの最長の長さは8メートルです。

## 7.3 KEF アプリのインストール

総合的なコントロールを行ったり音楽のストリーミングを楽しむ為に、KEF ControlアプリとKEF Streamアプリをご使用のiOS\* やAndroid\*\*デバイスにインストールして下さい。AppストアやGoogle Playストアで「KEF Control」や「KEF Stream」を検索して、アプリのダウンロードやインストールをする事ができます。



KEF Controlアプリでは、スピーカーのセットアップ、サウンド設定、スピーカー電源の入り切り、又音源の切り替えをする事ができます。

KEF Streamアプリを使用して、ローカル又はネットワーク上に保存されている音楽にアクセスし、再生する事ができます。

\*iOS 10以上が必要です。 \*\*Android 4.4以上が必要です。

## 7.4 Wi-Fiのセットアップ

最高の音質と総合的なコントロール、又完全な機能性の為に、スピーカーをご自身のWi-Fiネットワークに「オンボード(Onboarded)」して下さい。

### 7.4.1 インターネットのネットワーク条件

特にハイレゾ音源等の高品質なストリーミングの安定性を高める為に、ルーターの通信速度が少なくとも1,300 Mbps以上で 5 GHz帯のWi-Fiネットワークをおすすめします。

#### ● 技術的な要件

IEEE 802.11a/b/g/n 対応

セキュリティプロトコルWPA2の使用



- オープンネットワークはセキュリティ上おすすめいたしません。
- WEPは旧式の暗号化方式であり、設定やストリーミングの問題を引き起こす可能性があります。
- 暗号化形式の選択は、お使いのルーターの説明書をご参照下さい。



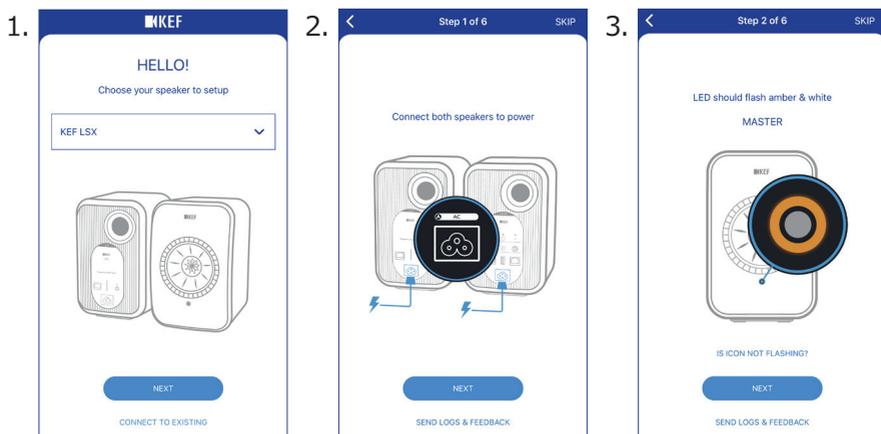
**オフィスネットワークへの接続:** このスピーカーは個人のWi-Fiネットワークに接続するよう設計されています。オフィスネットワークでは、通常スピーカーの接続を妨げる可能性のあるセキュリティや認証手法が使用されています。オフィスネットワークへの接続には、管理者によるネットワーク設定のサポートが必要となる可能性があります。

## 7.4.2 Android及びiOS (AirPlay 2以外) での方法



AirPlay 2は、ファームウェアバージョン4.0以降に対応しています。ファームウェアのアップグレード後、iOSのユーザーは「iOS (AirPlay 2) での方法」の章に従って設定を行って下さい。

1. LSXをご自身のネットワークに接続する為には、ご自身のデバイスでKEF Controlアプリを開き、選択メニューから「KEF LSX」を選んで「Next (次へ)」をタップして下さい。
2. 電源ケーブルをスピーカー背面のAC入力コネクタに接続して「Next (次へ)」をタップして下さい。
3. プライマリースピーカーのLEDインジケーターがオレンジ色と白色に点滅し、スピーカーの接続準備ができたことを知らせます。「Next (次へ)」をタップして下さい。

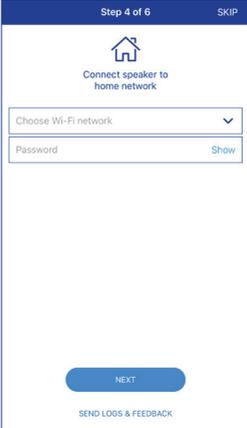


4. ご自身のデバイスのホームボタン(Home button)をタップして下さい。
5. デバイスの「Settings (設定)」を開いて下さい。
6. 「Wi-Fi」をお選び下さい。
7. 接続可能なネットワークの中から「LSX\_XXX」を選んで下さい。



8. KEF Controlアプリに戻り、「Next (次へ)」をタップして下さい。
9. リストからお使いのWi-Fiネットワークを選び、ご自身のWi-Fiネットワークのパスワードを入力後「Next (次へ)」をタップして下さい。
10. スピーカーの名前を作成し(任意)、「Next (次へ)」をタップして下さい。

オンボーディングプロセスは自動的に完了します。接続が成功すると、プライマリースピーカーのLEDインジケーターが白色に点灯します。セカンダリースピーカーは自動的にワイヤレスでプライマリースピーカーに接続されます。

8. 
9. 
10. 

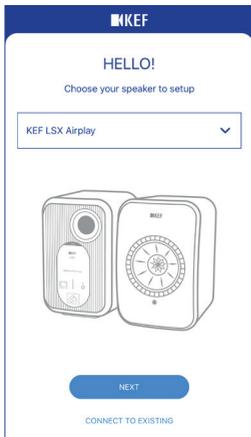


上記のプロセスは、iOS及びアンドロイドで多少の違いが生じます。その場合には、画面上の説明に従って接続を完了して下さい。

### 7.4.3 iOS (AirPlay 2) での方法

お使いのスピーカーがAirPlay 2にアップグレードされた後、iOSユーザーはこの方法を使ってスピーカーをご自身のネットワークに接続する事ができます。

1. スピーカーをご自身のネットワークに接続する為には、電源ケーブルをスピーカー背面のAC入力コネクタに接続して下さい。プライマリースピーカーのLEDインジケータがオレンジ色と白色に点滅します。
2. ご自身のデバイスのKEF Controlアプリを開き、選択メニューから「KEF LSX Airplay」を選んで、「Next (次へ)」をタップして下さい。



3. 「Set up new airplay speaker...(新たなairplayスピーカーをセットアップする)」から「LSX\_XXX」を選んで下さい。



4. 使用するネットワークを選んで、「Next (次へ)」をタップして下さい。

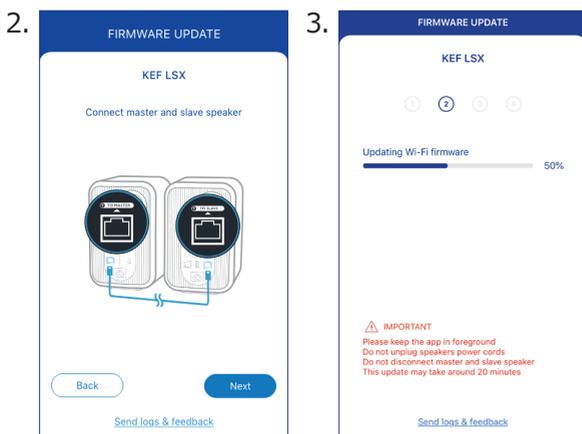


オンボーディングプロセスは自動的に完了します。接続が成功すると、プライマリースピーカーのLEDインジケータが白色に点灯します。セカンダリースピーカーは自動的にワイヤレスでプライマリースピーカーに接続されます。

## 7.5 ワイヤレスでのファームウェアアップデート

### 7.5.1 自動アップデートアラート

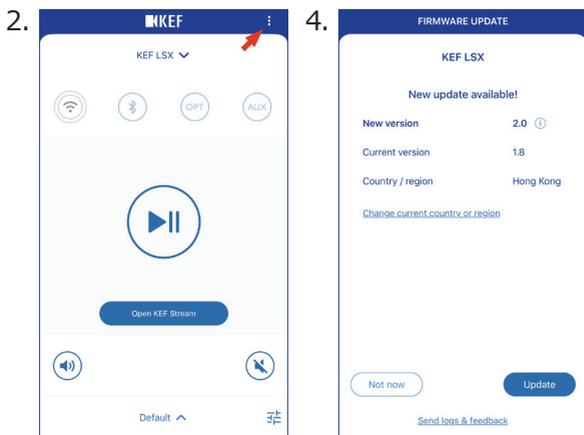
1. 新しいバージョンの入手が可能になると、ファームウェアのアップデート情報が知らされます。続けるには「Update (アップデート)」をタップして下さい。
2. 付属のスピーカー間ケーブルを用いてスピーカー背面の「マスター/スレーブへ (To P/S)」コネクションポートを通してマスター及びセカンダリースピーカーをつなぎ、「次へ (Next)」をタップして下さい。ケーブルモードが自動的に起動します。(「Cable Mode (ケーブルモード)」の章をご覧ください。)
3. ファームウェアのダウンロードとアップデートをお待ち下さい。



- i** 全プロセスには約20分かかります。KEF Controlアプリは必ず常にフォアグラウンド（前景）に表示される状態にしておいて下さい。電源ケーブル及びスピーカー間ケーブルは絶対に取り外さないで下さい。又アップグレードの間、スピーカーは絶対にリセットしないで下さい。

## 7.5.2 手動でアップデートを確認する

1. ファームウェアのアップデートが可能かどうかを確認するにはKEF Controlアプリを起動して下さい。
2. 右上角にあるスピーカー設定のアイコン (⋮) をタップし設定メニューにアクセスして下さい。
3. 「Firmware Update (ファームウェアのアップデート)」をタップして下さい。
4. 新しいファームウェアがある場合は「Update (アップデート)」をタップして下さい。
5. KEF Controlアプリの説明に従ってアップデートを完了して下さい。(「自動アップデートアラート」の章をご参照下さい。)

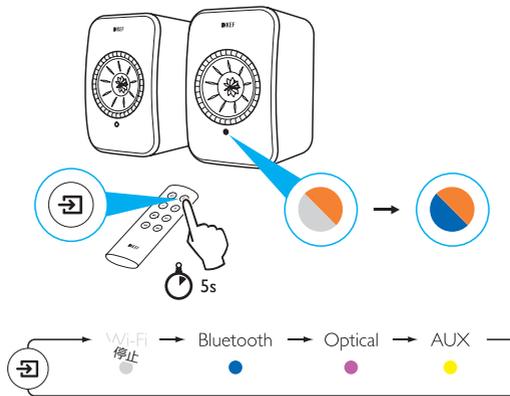


- ファームウェアアップデートの完了後、スピーカー間ケーブルを取り外すことができます。アップデート前に取り外されている場合は Cable Mode(ケーブルモード)は自動的に停止されます。
- ファームウェアアップデートの途中で何らかの原因で問題が起こった場合には、KEF Controlアプリの Recovery Mode (リカバリーモード)機能でスピーカーをリカバリーする事ができます。「Recovery Mode (リカバリーモード)」の章をご覧ください。

## 7.6 Wi-Fiなしでセットアップする

Wi-Fiネットワークを使用せずにスピーカーをセットアップする事は可能ですが、これはスピーカーのコントロールや機能を限定します。又Wi-Fi接続がない場合、重要なアップデートやバグの修正が見逃されることになります。

1. Wi-Fiを使用せずにセットアップをする為には、スピーカー背面のAC入力コネクタに電源ケーブルをつないで下さい。プライマリースピーカーのLEDインジケータがオレンジと白色に点滅します。
2. リモコンをプライマリースピーカーに向けて下さい。
3. リモコンのソースボタン(  ) をプライマリースピーカーのLEDインジケータが青とオレンジ色に点滅するまで5秒ほど押し続けて下さい。これはWi-Fiモードが停止したことを意味します。



4. このモードでは、Bluetooth及び光入力 (Optical) 、AUX 入力にアクセスできます。

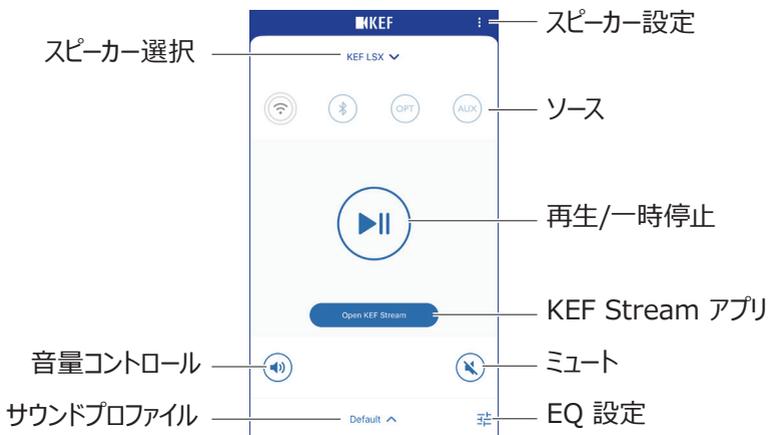
**i** Wi-Fi接続を使用してスピーカーを使用する場合には、スピーカーをリセットする必要があります。「工場出荷時設定へのリセット」の章をご覧ください。

## 8. インターフェースのコントロール

### 8.1 KEF アプリを使用する

KEF Controlアプリでは、スピーカーのセットアップ、サウンド設定、スピーカー電源の入り切り、又音源の切り替えをすることができます。

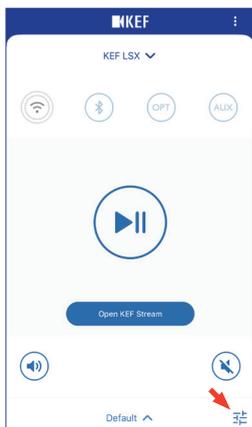
#### 8.1.1 ホーム画面



スピーカー選択	KEF Controlアプリを介してコントロールが可能なスピーカーを選択して下さい。「Add new speaker (新しいスピーカーの追加)」を選択して、互換性のある別の新しいスピーカーを追加することもできます。
音量コントロール	一度タップした後、音量スライダーを使って音量を調整します。
サウンド プロフィール	EQ設定メニュー内に作成されたサウンドプロフィールを選択します。
スピーカー設定	スピーカー設定メニューにアクセスします。
ソース	音源ソースボタン(W-Fi /Bluetooth /光入力(Optical)/AUX) の一つをタップしてサウンドソースの選択ができ、又選択した音源とスピーカー間の接続の入り切りができます。
再生/一時停止	再生を開始又は一時停止します。
KEF Stream アプリ	KEF Streamアプリ画面を表示します。
ミュート	サウンド出力をミュート又はミュート解除します。
EQ設定	サウンド設定メニューにアクセスします。

## 8.1.2 サウンドの最適化:EQ設定

1. スピーカーのサウンド設定を調整するには、ホーム画面の右下角にあるEQ 設定アイコン (🔊) をタップして下さい。

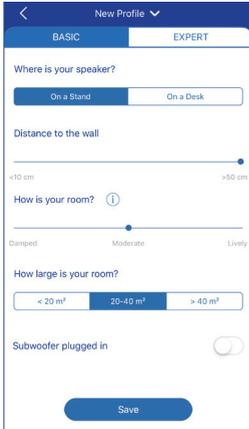


2. 「Add New Profile (新しいプロファイルの追加)」をタップして次に進んで下さい。



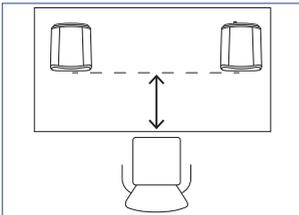
基本モード (Basic Modes) かエキスパートモード (Expert Modes) のいずれかを選ぶ事ができます。どちらのモードで設定したサウンド調整も同様に機能します。

## ● Basic Mode (基本モード)

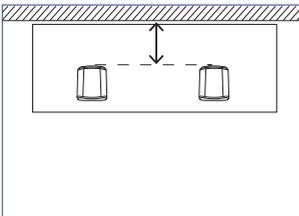


基本モードではスピーカーを聴く部屋の面積に応じてEQ設定が可能となり、下記の項目が含まれます。

- Installation location (取付場所): On a stand or on a desk (スタンド又はデスク上)
- Distance from front edge of the table (テーブルの前端からの距離) (デスク上の場合のみ) ( $> 50\text{ cm}$  から  $0\text{ cm}$ )

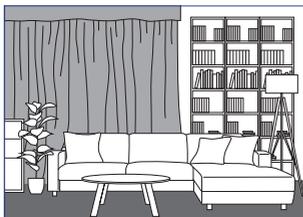


- Distance to the wall (壁との距離) ( $< 10\text{ cm}$  から  $> 50\text{ cm}$ )

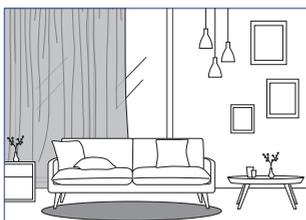


- How is your room? (部屋の状態は?) (Damped / Moderate / Lively)

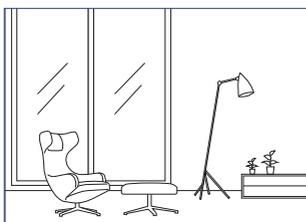
Damped (こもっている): 大型の家具、分厚いカーペットに重いカーテン



Moderate (適度): 中型の家具、薄いカーペットやラグに薄いカーテンといくつかの壁掛け



Lively (明るい): 硬い材質の床、あまり家具がなくカーテンのない大きな窓

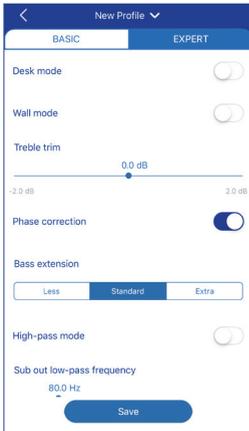


- How large is the room? (部屋の広さは?)  
( $< 20 \text{ m}^2$  /  $20\text{-}40 \text{ m}^2$  /  $> 40 \text{ m}^2$ )
- A subwoofer is plugged in (サブウーファースのコンセントがつながれている)  
(オン/ オフ)

サブウーファーがつながれている場合には、サブウーファースの音量とスピーカー/サブウーファースのバランスを設定して下さい。

設定の完了後、画面下部にある「Save (保存)」をタップしてサウンドプロフィールを保存する為の名前を作成して下さい。

## ● Expert Mode (エキスパートモード)



エキスパートモードではEQの好みに応じた更に精度の高い設定が可能となり、下記の項目が含まれます。

- Desk Mode (デスクモード) (オン / オフ, -6.0 dB から 0.0 dB)
- Wall Mode (ウォールモード) (オン / オフ, -6.0 dB から 0.0 dB)
- Treble Trim (高音域トリム) (-2.0 dB から 2.0 dB)
- Phase Correction (フェーズ補正) (オン / オフ)
- Bass Extension (低音の拡張) (Less (少なく) / Standard (標準) / Extra (多く))
- High-Pass Mode (ハイパスモード) (オン / オフ, 50 Hz から 120 Hz)
- Sub Out Low-Pass Frequency (サブアウト ローパス周波数) (40 Hz から 250 Hz)
- Sub Gain (サブゲイン) (-10 dB から 10 dB)
- Sub Polarity (サブ極性) (+ / -)

設定の完了後、画面下部にある「Save (保存)」をタップして サウンドプロフィールを保存する為の名前を作成して下さい。



## EQ設定をご理解いただく為に

**On a desk/distance from front edge of the table (デスク上で/テーブル前端からの距離) (エキスパートモード: デスクモード):** この設定は「プレゼンス (presence)」の範囲を調整します。(170 Hz +/- 1 オクターブ) 過剰な設定は音のくすみを引き起こし、一方でプレゼンスの欠如は距離感のある空虚な音を生み出します。

**Distance to the wall (壁との距離) (エキスパートモード: ウォールモード):** この設定では500 Hz程度以下の全周波数を調整する事ができ、デスクモードよりも幅広い変更が可能です。これらの周波数の低下は金属的な音の原因となり、一方でこれらの周波数の過剰は、低い周波数によって全体的なプレゼンテーションを圧倒する可能性があります。

**How is your room? (部屋の状況は?) (エキスパートモード: 高音域トリム):** この機能は、500 Hzを超える周波数を調整します。こもっている部屋は音を押さえたように感じさせ、明るい部屋は音を荒々しくします。「こもっている」の方向へ動かして音の抑制効果を減少させたり、「明るい」へ動かして音の荒々しさを調整して下さい。

**How large is your room (部屋の広さは?) (エキスパートモード: 低音の拡張):** この機能ではスピーカーの低音域の拡張を調整できます。より広い部屋を選択する事で、ロールオフポイントはより低くなります。



## サブウーファーの設定をご理解いただく為に

**Subwoofer/Speaker Balance (サブウーファー/スピーカーバランス) (基本モード):** この機能はサブウーファーとスピーカー間の低音出力をコントロールします。スライダーが「サブウーファー」側に動かされると大部分の低音出力がサブウーファーによって行われます。

**High-Pass Mode (ハイパスモード):** セットポイントを超える周波数がスピーカーから再生されます。

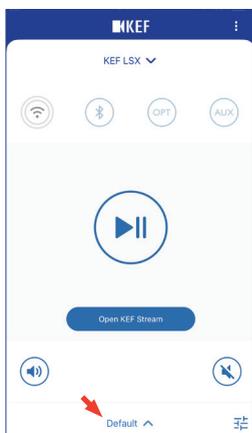
**Sub Out Low-Pass Frequency (サブアウト ローパス周波数):** セットポイントを下回る周波数がサブウーファーによって行われます。これは、ハイパス周波数とオーバーラップする事ができ、全体的な反応における音の降下や尖りをなくすことでスピーカーとサブウーファーをより効果的に統合します。

**Sub Gain (サブゲイン):** この機能は、サブウーファーへのシグナルレベルの出力を変更します。

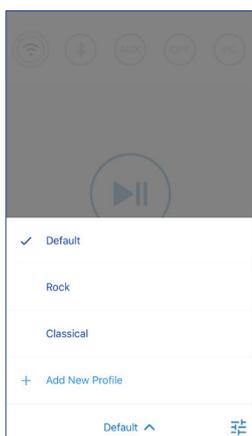
**Sub Polarity (サブ極性):** スピーカーとサブウーファーは同じ方向に同時に動かされる事が理想的であり、そうでない場合には周波数が相殺される可能性があります。サブウーファーの極性の切り替えは、低音域における反応の欠如が見られる場合の解決法となります。

## サウンドプロファイルの選択

1. ホーム画面下部にある現在のサウンドプロファイルの名前をタップして下さい。

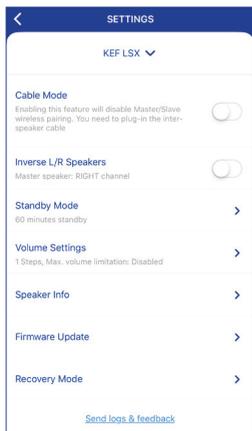


2. 選択メニューからサウンドプロファイルを選択して下さい。



### 8.1.3 スピーカー設定の調整

より詳細な設定をするためには、ホーム画面上の右上角にあるスピーカー設定アイコン(⋮)をタップして設定メニューにアクセスして下さい。



#### ● Cable Mode (ケーブルモード)

付属のスピーカー間ケーブルを使用し、スピーカーの背面にある「To P/S (マスター/スレーブ)」コネクションポートを通して、マスターとセカンダリスピーカーをつなぐ事ができます。

ケーブルが接続されると Cable Mode (ケーブルモード)が適用され、ワイヤレス接続は停止されます。



ケーブルモードは以下の場合に必要又は推奨されます。

- ファームウェアのアップデートを行う場合
- 96 kHz/24 bit (ワイヤレス: 48 kHz/24 bit) で更に質の良いレゾリューションを好まれる場合
- 障害によるオーディオドロップアウトが起こっている場合

#### ● Inverse L/R Speakers (左右のスピーカーの反転)

マスターチャンネルを左 (L) のチャンネルに変更したい際にこの設定を適用して下さい。

#### ● Standby Mode (スタンバイモード)

この設定ではスピーカーが自動的にスタンバイモードになる前の待機時間の長さ (20分又は60分) を選ぶ事ができます。もし、「never (しない)」が選択された場合、スピーカーは手動で電源を切らなければなりません。

## ● Volume Settings (音量設定)

この機能では以下の設定が可能です：

### ● Hardware Volume Buttons (ハードウェア音量ボタン)

この機能はiOSデバイスでのみ使用できます。ハードウェア音量ボタンはお持ちのデバイスの実際の音量ボタンと同様に機能します。Wi-Fi上の他の音楽ストリーミングアプリによる干渉が起こった場合にはこの機能を無効にしてください。

### ● Volume Button Sensitivity (音量ボタンの感度)

この機能ではご自身のデバイスの音量ボタンを一度押すごとの音量調節の段階を設定できます。

### ● Enable Limitation (制限の適用)

この機能では音量を調節する際の最大限度を設定する事ができます。

## ● Speaker Info (スピーカー情報)

この機能では下記の事が可能です。

- スピーカー名の再設定

- 下記の情報を探す：

MAC アドレス

IP アドレス

スピーカーシリアルナンバー

ファームウェアバージョン

- スピーカーを削除： KEF Controlアプリからスピーカーを取り除く

## ● Firmware Update (ファームウェアアップデート)

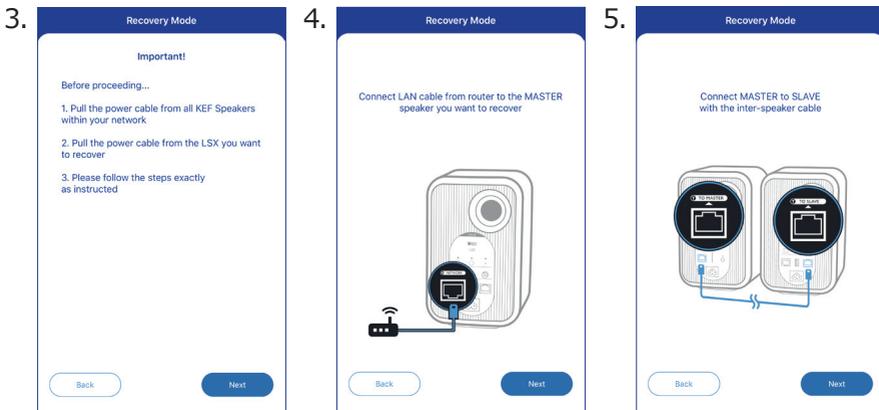
更新する事ができる新しいファームウェアの有無を確認できます。「[ワイヤレスでのファームウェアアップデート](#)」の章をご覧ください。

## ● Recovery Mode (リカバリーモード)

このモードでは、ファームウェアアップデート中に問題が起こった場合にスピーカーをリカバリーする事ができます。

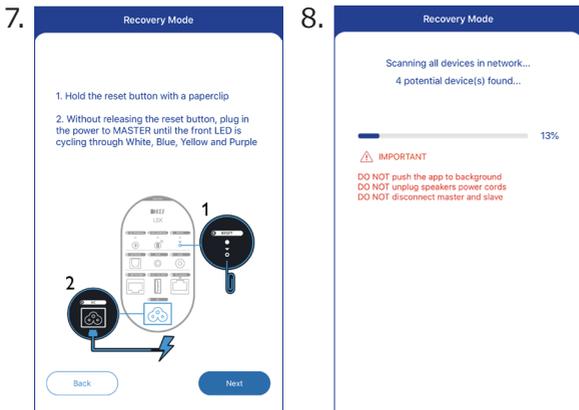
1. その他のKEFワイヤレススピーカーをお持ちの場合、その全てがネットワークから外されている事を確認し(LS50 ワイヤレススピーカーを含む) ネットワーク上でのリカバリーを必要とするLSXスピーカーのみを接続して下さい。
2. プライマリスピーカーから電源ケーブルを取り外して下さい。

3. KEF Controlアプリを立ち上げ、「設定 ( Settings)」の「Recovery Mode (リカバリーモード)」を選択し、注意深く指示に従った後「Next (次へ)」をタップして下さい。
4. お使いのルーターからのLANケーブルをプライマリースピーカーのネットワークポート [N] につなぎ、「Next (次へ)」をタップして下さい。
5. 付属のスピーカー間ケーブルを使用し、スピーカーの背面にある「To P/S (マスター/スレーブ)」コネクションポートを通してマスターとセカンダリースピーカーをつなぎ、「Next (次へ)」をタップして下さい。



6. ペーパークリップやピンを使用して、プライマリースピーカー背面の工場出荷時へのリセットボタン [R] を押して下さい。

7. 工場出荷時へのリセットボタンを押したままプライマリースピーカーのAC入力コネクター [A] に電源ケーブルをつなぎ、マスターとセカンダリースピーカー前面のLEDインジケーターが 白、青、紫、黄色に点滅した後、「Next (次へ)」をタップして下さい。
8. KEF Controlアプリがお客様のスピーカーを探し始め、ファームウェアのアップデートプロセスを再開します。



**i** 不具合の種類に応じて、ファームウェアアップデートの途中で KEF Controlアプリの「Start recovery (リカバリーの開始)」ボタンに警告が出る事があります。その場合にはアプリに示される指示に注意深く従ってリカバリーを行って下さい。

## ● Advanced Settings (高度な設定)

この機能では下記の設定が可能です。

### ● My Speakers (マイスピーカー)

KEF Controlアプリに新しいスピーカーを登録する事ができます。

### ● Analytics (分析)

KEF Controlアプリから製造元に、故障の報告や問題改善の為の解析データを送る事ができます。どちらの設定も有効にしておくことをお勧めします。

## ● About (本製品について)

以下の項目をご覧ください。

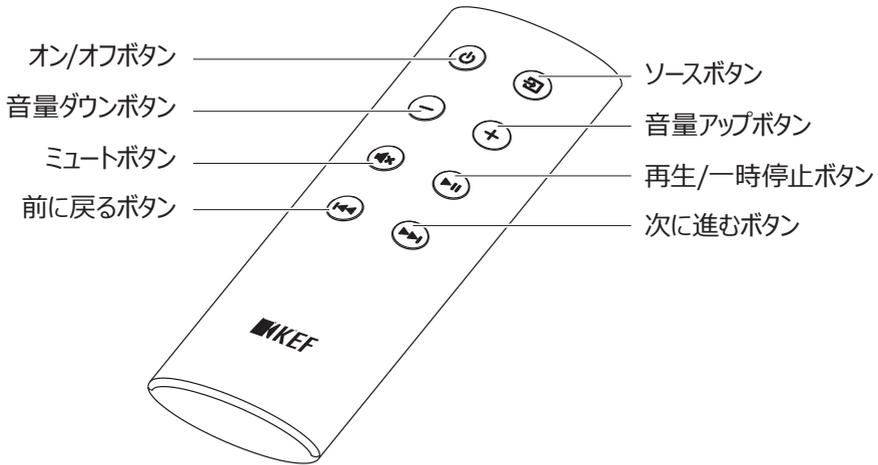
- KEF Controlアプリの最新バージョン
- KEFのウェブサイトへアクセス
- 製品の登録
- ライセンス同意書
- プライバシーポリシー
- ヘルプとサポート (よくある質問)



問題が生じた場合、又はフィードバックや提案を送りたい時には設定メニュー下部の「Send logs and feedback (ログとフィードバックの送信)」機能をご使用下さい。

## 8.2 リモートコントロールの使用

リモコンを使用する事で、スピーカーの基本的なコントロールをする事ができます。



オン/オフボタン	スピーカー電源の入り切りをします。
音量ダウンボタン	音量を下げます。
ミュートボタン	サウンド出力をミュート又はミュート解除します。
前に戻るボタン	前のトラックへスキップします。
ソースボタン	サウンドソースを選択します。 (Wi-Fi/Bluetooth/光入力(Optical)/AUX)
音量アップボタン	音量を上げます。
再生/一時停止ボタン	再生を開始又は一時停止します。
次に進むボタン	次のトラックへスキップします。

### 8.2.1 電池の交換

リモコンの反応が悪かったり反応しない場合には、電池が少なくなっている可能性があります。新しい電池(CR2023, 3 V)と交換して下さい。

1. 背面の電池入れのカバーをスライドして開けて下さい。
2. 電池入れから古い電池を取り出して下さい。
3. 古い電池を適切に破棄し、お子様やペットから離れた場所に置いて下さい。
4. 新しい電池を入れ、プラス極 (+)が上側になっている事を確認して下さい。
5. 電池入れのカバーを閉めて下さい。

## 9. 再生とストリーミング

### 9.1 Wi-Fiで再生する

#### 9.1.1 KEF Streamアプリを使用する

KEF Streamアプリを使用し、ローカルまたはネットワークに保存されている音楽やストリーミングサービス (SpotifyおよびTidal) の音楽にアクセスし再生できます。

##### 9.1.1.1 ホーム画面



スピーカー選択	KEF Streamアプリを介してストリーミング可能なスピーカーのリストを表示します。「Add new speaker (新しいスピーカーを追加)」を選択し、互換性のある別の新しいスピーカーを追加することもできます。
メインメニュー	メインメニューにアクセスします。
プレイリスト	最近再生したプレイリストを表示します。
KEF Control アプリ	KEF Control アプリ画面を表示します。
検索	ローカルライブラリから特定のトラックを検索します。
お気に入り	お気に入りとして追加したトラックを表示します。
履歴	最近再生したトラックを表示します。

## 9.1.1.2 メインメニュー



ホーム	ホーム画面にアクセスします。
リモートコントロール	KEF Control アプリ画面を表示します。
ニュース	新機能、ファームウェアのアップデート、その他役立つ情報に関する最新情報をチェックします。
ライブラリ	ローカルライブラリにアクセスします。デバイスに保存されている互換性のある音楽ファイルを表示します。
設定	設定メニュー画面へアクセスします。
ローカルミュージック	該当するオプションをタップし、ローカルライブラリ内のお気に入りとプレイリスト、およびローカルライブラリから最近再生したトラックを表示します。
ネットワークミュージック	NASドライブから、またはネットワーク経由の互換性のあるストリーミングサービス (TIDALおよびSpotify) からの再生に対応するオプションをタップします。

### 9.1.1.3 再生画面



再生画面の非表示	再生画面を非表示にします。
メタデータ (トラック名)	トラックのメタデータ (トラック名など) を表示します。
お気に入り	トラックをお気に入りへ追加します。
シャッフル	トラックのランダム再生を有効または無効にします。
音量ボタン	一回タップし、音量スライダを使って音量を調整します。
トラックリスト	トラックリストにアクセスします。
スクロール	再生の進行状況を表示します。トラックの特定の場所にスキップするには、バーに沿って点 (ドット) をドラッグします。
オプション	お気に入りとしてトラックを追加/削除する、トラックをプレイリストに追加します、またはトラックのアルバム/アーティストに移動します。
前に戻る/次に進む	前のトラックに戻ります/次のトラックに進みます。
繰り返し	再生するリピートモード (1トラックのみリピート、全トラックリピート) を選択します。
再生/一時停止	再生を開始または一時停止します。
ミュート	オーディオ出力をミュートまたはミュート解除します。

#### 9.1.1.4 接続デバイスから音楽を再生する (ライブラリ)

接続されているデバイス (携帯電話など) に保存されている互換性のある音楽ファイルを再生できます。

1. 「Library (ライブラリ)」をタップし、デバイスに保存されている音楽ファイルを表示します。



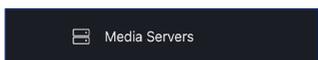
2. 再生するトラックを探して選択します。

音楽ファイルはアーティスト、トラック、アルバムごとに分類されています。

#### 9.1.1.5 メディアサーバーから音楽を再生する

接続しているメディアサーバー内の音楽ライブラリに保存されている互換性のある音楽ファイル (DLAN / uPnP経由のNASドライブなど) を再生できます。メディアサーバーとスピーカーは同じネットワーク上になければなりません。

1. メインメニューから「Media Servers (メディアサーバー)」をタップします。



2. 利用可能なメディアサーバーの名前をタップします。
3. 再生したいトラックを探して選択します。

#### 9.1.1.6 TIDALから音楽を再生する (現在日本ではサービスが行われていません。)

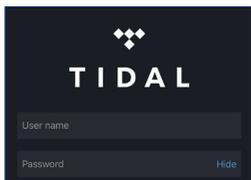


TIDALは、ロスレスオーディオ及び高画質ミュージックビデオと、独占コンテンツ及びミュージック特殊を組み合わせた、購読ベースの音楽、ポッドキャスト、ビデオストリーミングサービスです。このアプリを使用しご自身のTIDALアカウントにアクセスし、高解像度のオーディオを再生できます。なお、本サービスの利用には有効なHi-Fi サービスプランの購読が必要です。

1. メインメニューの「TIDAL」をタップします。



2. ご自身のTIDAL アカウントにログインします。



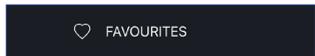
3. 再生したいトラックを探し、選択します。

### 9.1.1.7 Spotifyから音楽を再生する

「Spotify Connectによるストリーミング」の章をご覧ください。

### 9.1.1.8 お気に入り

ローカルライブラリ内のお気に入りのトラックを表示するには、メインメニューから「Favourites (お気に入り)」をタップします。最近追加されたお気に入りのトラックはホーム画面にあります。



#### ● トラックをお気に入りに選択する/選択解除する

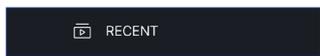
再生画面でハートアイコン (♡) をタップし、トラックをお気に入りにして選択または選択解除します。

または、トラックのリストから右側にあるオプションアイコン (⋮) をタップし、「Add to Favourites (お気に入りに追加)」または「Remove from Favourites (お気に入りから削除)」を選択します。



### 9.1.1.9 履歴

メインメニューから「Recent (履歴)」をタップすると、ご自身のローカルライブラリからもっとも最近に再生されたトラックが表示されます。また、直前に再生されたトラックもホーム画面に表示されます。



### 9.1.1.10 トラックリスト

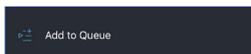
トラックリストにトラックを追加すると、そのトラックは現在再生中のトラックの後に再生されます。トラックリストは恒久的なリストではないため、保存することはできません。

#### ● トラックをトラックリストに追加する

1. トラックのリストの中から、トラックリストに追加したいトラック名の右側のオプションアイコン (⋮) をタップします。



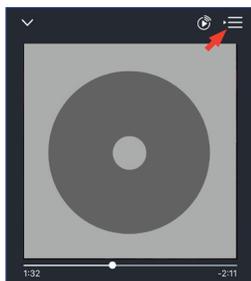
2. 「Add to Queue (トラックリストに追加する)」を選択します。



お好みに応じて、アーティストのすべてのトラック、アルバムのすべてのトラック、またはトラックリスト内の再生リストのすべてのトラックを追加できます。また「Replace the queue (トラックリストを置き換える)」を選択し、現在のトラックリスト内のすべてのトラックを新しいトラックと置き換えることもできます。

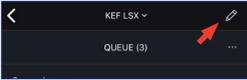
#### ● 現在のトラックリストを表示する

再生画面を表示し、画面右上にあるキューアイコン (⋮) をタップします。

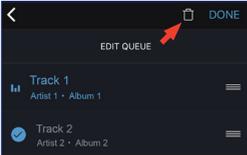


## ●トラックリストを編集する

1. 現在のトラックリストを表示し、画面右上にある鉛筆アイコン ( ✎ ) をタップします。



2. トラックリストからトラックを削除したい場合は、削除したいトラック名の左側にある○をタップし選択した後、ゴミ箱アイコン ( 🗑 ) をタップします。

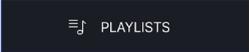


3. トラックリストの再生順序を編集したい場合は、順序を変更したいトラックの右側にある3本のバーアイコン ( ≡ ) を押したまま、トラックリスト内で上または下にドラッグします。

### 9.1.1.11 プレイリスト

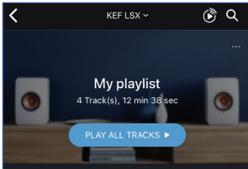
プレイリストとは、ご自身の好きな順番にトラックを並べて再生できるトラックリストです。作成したプレイリストは保存して繰り返し聞くことができます。

メインメニューで「Playlists (プレイリスト)」をタップし、KEF Streamアプリ内およびローカルライブラリから作成されたプレイリストを表示します。最近再生したプレイリストもホーム画面に表示されます。

A dark rectangular button with a hamburger menu icon on the left and the text "PLAYLISTS" in white capital letters on the right.

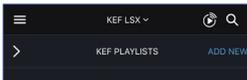
#### ●プレイリストを再生する

再生したいプレイリストを選択し、「Play all tracks (すべてのトラックを再生)」をタップしプレイリストの再生を開始します。

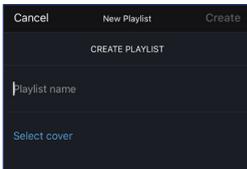


#### ●プレイリストを作成する

1. メインメニュー画面で「Playlists (プレイリスト)」をタップします。
2. 「Add New (新しく追加する)」をタップします。



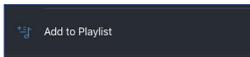
3. プレイリストの名前を作成し、そのリストのカバー写真に使用する画像を選択します (オプション)。



4. 「Create (作成する)」をタップします。

## ●トラックをプレイリストに追加する

1. トラックのリストまたは再生画面から、画面右のオプションアイコン (…) からをタップしてから、「Add to Playlist (プレイリストに追加)」を選択します。



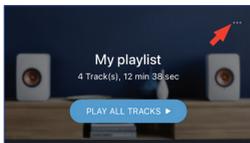
2. そのトラックを追加したいプレイリストを選択します。



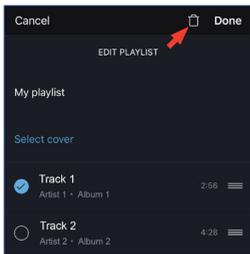
お好みに応じて、アーティストのすべてのトラック、またはアルバムのすべてのトラックをプレイリストに追加することもできます。

## ●プレイリストを編集する

1. メインメニュー画面で「Playlists (プレイリスト)」をタップします。
2. 編集するプレイリストをタップします。
3. 画面右上端にあるオプションアイコン (…) をタップします。



4. 「Edit (編集する)」をタップします。
5. プレイリストからトラックを削除するには、削除したいトラック名の左側にある○をタップし選択した後、ゴミ箱アイコン (🗑) をタップします。



6. プレイリストの再生順序を編集するには、順序を変更したいトラックの右側にある3本のバーアイコン( ≡ ) を押したまま、プレイリスト内で上または下にドラッグします。

## ●プレイリストを削除する

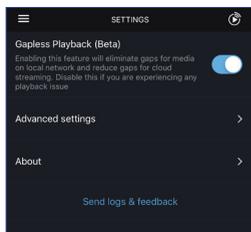
1. メインメニュー画面で「Playlists (プレイリスト)」をタップします。
2. 削除したいプレイリストをタップします。
3. 画面右上端にあるオプションアイコン (⋮) をタップします。



4. 「Delete Playlist (プレイリストを削除する)」をタップします。
5. 「Confirm (確定)」をタップします。

## 9.1.1.12 設定

メインメニュー画面で「Settings (設定)」をタップして、設定メニューを表示します。



### ● Gapless Playback (ギャップレス再生)

この機能を有効にすると、ローカルネットワーク上のメディアのギャップがなくなり、クラウドストリーミングのギャップが少なくなります。うまく再生できない場合は、この機能を無効にしてください。

### ● Advanced Settings (高度な設定)

#### ● My Speakers (マイスピーカー)

別のスピーカー (ペア) をKEF Controlアプリに登録できます。

#### ● Analytics (分析)

KEF Controlアプリから製造元にクラッシュレポートの送信及び問題改善のための分析データの送信を行う設定をすることができます。どちらの設定も有効にしておくことをお勧めします。

### ● About (本製品について)

以下の項目をより詳しくご覧いただけます。

- KEF Streamアプリの最新バージョン
- KEF のウェブサイトへアクセス
- 本製品に関する使用許諾契約
- プライバシーポリシー
- ヘルプとサポート (よくあるご質問)



問題が生じた場合、またはフィードバックや提案を送信したい場合は、設定メニュー画面の下部にある「Send Logs & Feedback (ログとフィードバックの送信)」機能を使用してください。

## 9.1.2 AirPlay 2でストリーミングする

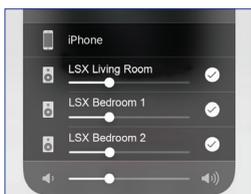
このスピーカーはAirPlay 2\* (ファームウェア4.0以降) に対応しています。

1. AirPlay 2を使ってオーディオをストリーミングするには、iOSデバイスで再生を開始します。
2. 再生画面の下部にあるAirPlay 2のアイコン (  ) をタップします。



3. 選択メニューより「KEF LSX」スピーカー (または自分で名前を付けたスピーカー) を選択します。選択したスピーカーからオーディオ出力が再生されます。

また、Apple AirPlay 2でこのスピーカーをiOSデバイスでコントロールし、マルチルーム・ワイヤレスミュージックシステムの一部として使用することもできます。同じネットワーク内に複数のスピーカーが接続されている場合は、同じオーディオ出力を同時に再生するスピーカーを選択します。



\*AirPlay 2 対応機種は以下の通りです:

- iOS 11.4以降を搭載したiPhone、iPad、またはiPod touch
- tvOS 11.4以降を搭載したApple TV 4KまたはApple TV (第4世代)
- iTunes 12.8以降を搭載したMac またはWindows パソコン

### 9.1.3 Spotify Connect でストリーミングする



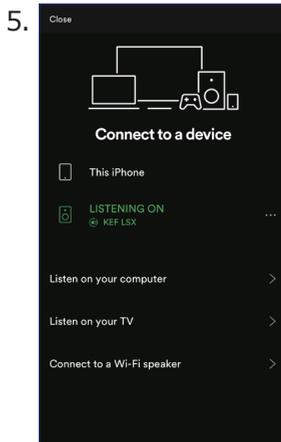
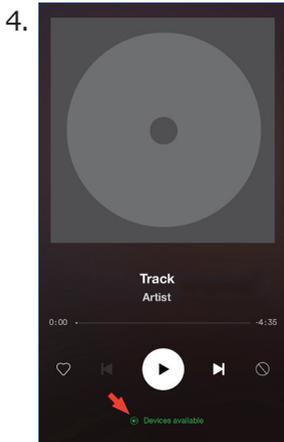
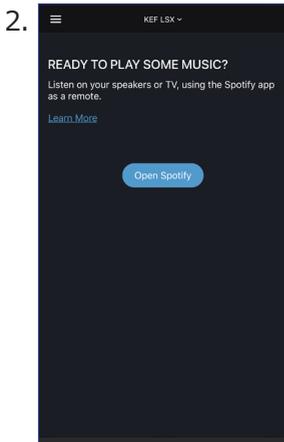
**Spotify**

Spotifyはデジタルミュージック、ポッドキャスト、そしてビデオのストリーミングサービスで、世界中のアーティストの何百万ものトラックやその他コンテンツにアクセスすることができます。本スピーカーはSpotify Connect機能（ファームウェア3.0以降）に対応しています。

1. Spotify Connectを使って音楽をストリーミングするには、KEF Streamアプリのメインメニュー画面の「Spotify」をタップします。



2. 「Open Spotify (Spotifyを開く)」をタップします。Spotifyアプリが画面に表示されます。
3. Spotifyアプリで再生するトラックをブラウズし、選択します。
4. 再生画面の下部にあるスピーカーのアイコン (  ) を選択します。
5. 選択メニューより「KEF LSX」スピーカー（または自分で名前を付けたスピーカー）を選択します。選んだトラックがスピーカーから再生されます。

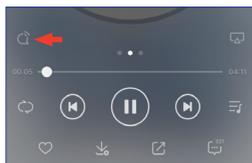


## 9.1.4 Qplayでストリーミングする (現在日本ではサービスが行われていません。)



QQ Musicは、中国で最も人気のあるオンラインミュージックストリーミングサービスの1つです。QPlayを使用すればQQ Musicアプリから直接音楽をストリーミングすることができます。本スピーカーはQPlay機能 (ファームウェア 3.0以降) に対応しています。

1. QPlayを使って音楽をストリーミングするには、iOS / Androidデバイスと本スピーカーが同じネットワーク上にあることを確認してください。
2. QQ Musicアプリを起動し、設定でQPlayを有効にします。
3. トラックをブラウズし、再生します。
4. 再生画面のQPlayアイコン()をタップします。



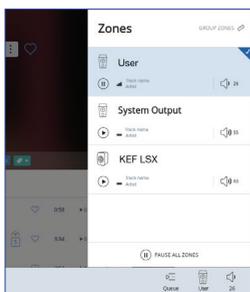
5. デバイスリストから「KEF LSX」スピーカー (または自分で名前を付けたスピーカー) を選択します。



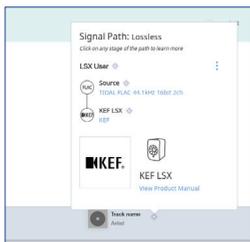
## 9.1.5 Roonでストリーミングする

**roon** Roonは、NASドライバー、ローカルに保存された音楽（コンピュータ上など）、互換性のあるストリーミングサービス、及びDropboxから音楽を集めて、検索や気ままな閲覧ができる自分専用のミュージック雑誌の創作を可能にした高品質の音楽管理システムです。本スピーカーは、Roonのほとんどの機能（ファームウェア 3.0以降）に対応しています。

1. Roonを使って音楽をストリーミングするには、お手持ちのコンピューターとスピーカーが同じネットワーク上にいることを確認してください。
2. Roonのフッターで、音量の横にある「Zone Picker（ゾーン選択）」をクリックして、デバイスリストから「KEF LSX」スピーカー（または自分が名前を付けたスピーカー）を選択します。



3. フッター内の色がついた小さなライトをクリックすると、信号経路が分かります。



## 9.1.6 DLNAでストリーミングする

**dlina** 本スピーカーは、一般的なDLNA\* ストリーミングソフトウェア（Windows Media Playerや foobar2000など）やアプリ（BubbleUPnPや MConnect Controlなど）に対応しています。

DLNAソフトウェアまたはアプリの設定メニューまたはセットアップメニューで、オーディオストリーミング用の出力スピーカーとして「KEF LSX」を選択します。

\*Digital Living Network Alliance（デジタルリビングネットワークアライアンス）（DLNA）

## 9.2 Bluetoothで再生する

Bluetooth接続を使用して、Bluetoothデバイス（コンピュータなど）と本スピーカーをペアリングできます。

### 9.2.1 Bluetoothモードを選択する

KEF ControlアプリでBluetoothボタン (※) を押してBluetoothモード(Bluetooth Mode)に切り替えます。

またはリモコンのソースボタンを押してBluetoothモードに切り替えます。

### 9.2.2 Bluetoothのペアリング設定

1. Bluetoothモードで、プライマリースピーカーのLEDインジケータを確認します。

LEDインジケータがゆっくり青く点滅している場合、スピーカーはBluetooth検出モード (Discovery Mode)状態にあり、Bluetoothデバイスとペアリングできる準備ができています。

LEDインジケータが青色で点灯している場合、スピーカーはすでにBluetoothデバイスとペアリングされています。接続中のBluetoothデバイスとの接続を解除する場合は、LEDインジケータがゆっくり青く点滅するまで、プライマリースピーカーの背面にあるBluetoothペアリングボタン (B) を押し続けます。

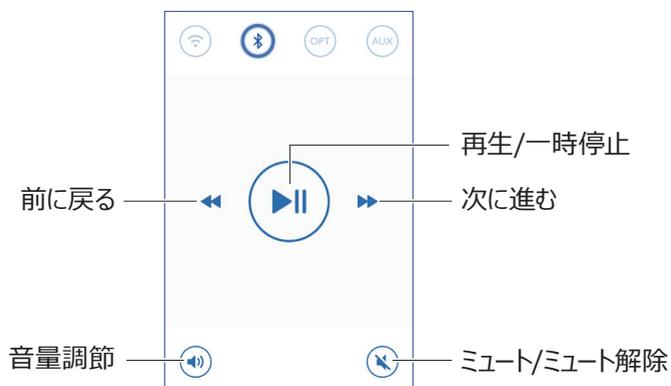
2. お使いのデバイスのBluetooth機能をオンにして、ペアリングに使用可能なデバイスのリストから「KEF LSX」を選択してください

ペアリングが完了すると、スピーカーからインジケータ音が鳴りLEDインジケータが青く点灯します。

本スピーカーは過去にペアリングされたデバイスを記憶しています。Bluetoothモードが選択されると、スピーカーは以前ペアリングされたデバイスが近くにある場合、自動的に接続します。

## 9.2.3 再生コントロール

以下のボタンを使って再生コントロールを行います。



## 9.3 光デジタル入力で再生する

お手持ちのデバイス (TVやゲーム機など) が光デジタル入力端子搭載の機器の場合は、光ケーブルを介して本スピーカーと接続することができます。すべての再生コントロール (音量調整を除く) は、接続されているデバイスで行う必要があります。

### 9.3.1 光ケーブル接続

お手持ちのデバイスの光出力ポートとプライマリースピーカー背面の光入力ポート (O) を光ケーブルで接続します。

### 9.3.2 光デジタルモードの選択

KEF Controlアプリで、光デジタルモードボタン (OPT) を押して光デジタルモード(Optical Mode)に切り替えます。

またはリモコンのソースボタンを押して光デジタルモードに切り替えます。



本スピーカーは高音質の光デジタル入力端子を搭載していますので、ほとんどのTVと光デジタルケーブルを使って接続することが可能です。お使いのTVのデジタルオーディオ出力がPCMフォーマットになっていることをご確認ください。詳しくは、お使いのTVの取扱説明書でご確認ください。

## 9.4 AUX入力で再生する

本スピーカーは、オーディオケーブルを介して3.5 mmオーディオ出力のデバイス (ターンテーブル、コンピューター、DVDプレーヤー、CDプレーヤーなど) を接続できます。すべての再生コントロール (音量調整を除く) は、接続されている機器で行う必要があります。

### 9.4.1 3.5mm Audio ケーブルで接続する

3.5 mmオーディオケーブルを、お使いのデバイスのオーディオ出力ジャックとプライマリースピーカーの背面の補助入力ジャック (X) の両方に接続します。

### 9.4.2 AUXモードの選択

KEF Controlアプリ内のAUXモードボタン (AUX) を押して補助モードに切り替えます。

または、リモコンのソースボタンを押して補助モードに切り替えます。

## 10. お手入れとメンテナンス

### ▲ 警告！

#### 感電の恐れがあります！

不適切なお手入れは、怪我を引き起こす恐れがあります。

- スピーカーのお手入れは、必ず電源コードを電源コンセント / ソケットから抜いてから行ってください。

### 注意！

#### ショートของ恐れがあります！

スピーカーのハウジングに水やその他液体が入り込むと、ショートの原因となる可能性があります。

- スピーカーのハウジングに水やその他の液体が入り込んでいないことをご確認ください。
- 水や他の液体を絶対にスピーカーをかけたり濡らしたりしないでください。

### 注意！

#### 故障の恐れがあります！

誤った使い方をすると、スピーカーの破損や故障を招く可能性があります。

- 強力なクリーナー、金属製あるいはナイロン製の剛毛のブラシでのクリーニング、またナイフ、硬いヘラなどの金属製あるいは鋭利なクリーニング用具のご使用はお控えください。スピーカーの表面が傷つく恐れがあります。
1. スピーカーのお手入れは、本スピーカーの電源ケーブルを電源コンセント (ソケット) から外してから行ってください。
  2. 湿った布でスピーカーの前面と背面を拭いた後、清潔で乾いた布で仕上げ拭きをしてください。
  3. 静電気防止クリーナーを使用して、Uni-Qドライバ (スピーカーコーン) を柔らかいスポンジで丁寧に拭いてください。

## 11. 保管

すべてのパーツが完全に乾いてから保管してください。

- スピーカーは常に乾燥した場所に保管してください。
- 直射日光が当たる場所にスピーカーを置かないでください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。

## 12. よくあるご質問とトラブルシューティング

### 12.1 設定とネットワーク接続について

#### 1. ホームネットワークや設定用のスマートフォンがありません。Wi-FiネットワークがなくともLSXを使うことは可能ですか？

はい、可能です。しかしながら、LSXの主要なフィーチャー（TIDAL、Spotify Connect）やKEF Control / Streamアプリをご利用いただくため、インターネット接続のあるホームネットワークにつなげていただくことを特におすすめします。

また、バグ修正や新機能などの重要なファームウェアアップデートなどのためにもインターネット接続環境が必要です。

Wi-FiネットワークなしでLSXを使用できるようにネットワーク機能を無効にする方法の詳細については、「[Wi-Fiなしでセットアップする](#)」を参照してください。

#### 2. セカンダリスピーカーの電源をONにするにはどのようにすれば良いですか？

セカンダリスピーカーの電源をONにする必要性はございません。スレーブ側の電源ケーブルをコンセントに入れて頂くとLEDがオレンジ色に点滅致します。スレーブ側の動作していることを示します。

プライマリスピーカーは電源を入れることで自動的にスレーブ側を見つけます。

#### 3. プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーをワイヤレスで接続する場合は、どのようにすれば良いですか？

プライマリスピーカーとセカンダリスピーカー両方の電源を入れることでワイヤレス接続を自動的に行います。

#### 4. プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーをケーブルで接続するのはどういう時に必要ですか？

A. ファームウェアアップデートを行う場合

B. 96 kHz/24 bitの音楽ファイルをダウンサンプリングせずに聴きたい場合

- ワイヤレスモード: 48 kHz/24 bit
- ケーブルモード: 96 kHz/24 bit

C. 障害により音声途切れる場合

ケーブルモードはKEFコントロールアプリで開始できます。詳しくは「[ケーブルモードとは？](#)」を参照してください。

## 5. 左右のスピーカーをどうすれば見分けが付きませんか？

デフォルトでプライマリースピーカーは、右側になります。あなたから見て右手側にスピーカーを置いてください。

スレーブ側又は左チャンネルは、あなたから見て左手側に設置をしてください。

また、KEF Controlアプリを使って左右のスピーカーを設定することもできます。

KEF Controlアプリ > Settings (設定) > Inverse L / R Speakers (左右スピーカーの入れ替え) の順にタップし、設定してください。

## 6. プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーはどのくらい離して設置すればいいですか？

理想的なステレオ再生/音場再生には1~3メートルの間に設置してください。

プライマリースピーカーとセカンダリースピーカー間の最大距離:

- ワイヤレスモード: 5メートルまで。ただしWi-FiやBluetooth等から影響があると短くなる場合があります。
- ケーブルモード: 8メートルまで (Cat-6 Ethernetシールドケーブル使用の場合)

## 7. どのようなルーターを使用すればいいですか？

インターネットをされる際にお使いのルーターからの回線スピードが遅い場合は、あまりお勧めいたしません。

特にハイレゾ音源などの高品質なストリーミングの安定性を高める為にルーターの転送速度が1,300M bps以上の 5 GHz帯Wi-Fiルーターをお勧めいたします。

以下は技術的な必要条件です。

- IEEE 802.11a/b/g/n対応
- セキュリティプロトコルWPA2を使用

オープンネットワークはセキュリティ上おすすめいたしません。

WEPは古い暗号化であり、セットアップやストリーミングの問題につながる可能性があります。

暗号化方式を選択するには、お使いのルーターのユーザーガイドを参照してください。

LSXは5.2 GHzのチャンネル36、40、44、48および5.8GHz\* のチャンネル149、153、157、161、165をサポートしています。ルーターのチャンネルを変更するには、ルーターのユーザーマニュアルを参照してください。

\* 5.8GHzは日本では使用できません

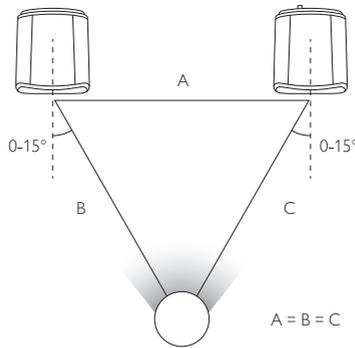
## 8. 最適なリスニングポイントはどこですか？

最高のサウンドを体験するには、プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーを1~3メートル離してください。

スピーカーとリスナーとの最適な距離感、マスター側とスレーブ側との距離感によって異なります。リスニングポイントと同じ距離感を目標にしてください（例：正三角形を形成してください）。

つまり、プライマリースピーカーとセカンダリースピーカー間の距離 (A)、セカンダリースピーカーとリスナー間との距離 (B)、プライマリースピーカーからリスナー間との距離 (C)の3点が同じ距離感である事が必要となります。

スピーカーはリスナーの方に向けてください。



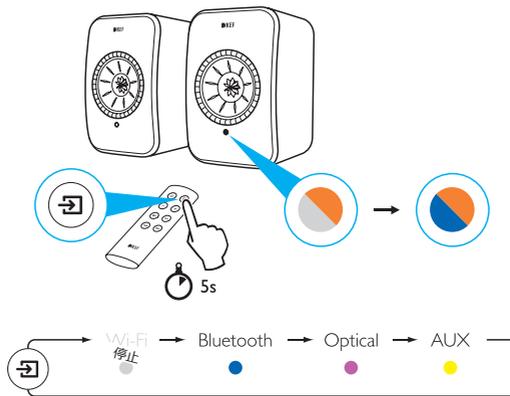
## 9. Wi-Fiネットワークの設定をせずに、設定ができますか？

Wi-Fiネットワーク不使用ですと、本機の機能が大幅に制限されるためおすすめできません。

さらに、Wi-Fiネットワークを使用するとバグ修正や新機能が搭載されたアップデートの見逃すことがありません。

Wi-Fiネットワークなしでスピーカーを設定するには：

1. スピーカーがセットアップモードになっている必要があります。プライマリースピーカーのLEDは白とオレンジが交互に点灯します。そうでない場合は、工場出荷時設定にリセットし、セットアップモードに入る必要があります。詳細は「[工場出荷時設定へのリセット](#)」を参照してください。
2. 付属の小型専用リモコンをプライマリースピーカーに向けて、LEDが青とオレンジに交互に変わるまで「Source (ソース)」ボタンを5秒間押し続けます。非Wi-Fiモードが無効になっていることを示します。このモードでは、Wi-Fiソースは無効になっています。



Wi-Fi接続でLSXの使用を再開するには、スピーカーをセットアップモードにリセットします。セットアップモードを工場出荷時設定にするには「[工場出荷時設定へのリセット](#)」を参照してください。

## 10. メッシュWiFi方式のルーターは使えますか？

メッシュルーターは、単一ポイントからWi-Fiをブロードキャストするのではなく、複数のアクセスポイントを利用して、それら間で信号を再ブロードキャストします。この「メッシュ」を処理するための標準方式がないため、各ルーターブランドは独自の方法でこれを処理しますので、現時点ではメッシュルーターは推奨しておりません。

## 12.2 オペレーション

### 1. 電源の入り切りはどうすれば良いですか？

スピーカーの電源をオンまたはオフにするには、付属の小型専用リモコンまたはKEF Controlアプリを使用します。

付属の小型専用リモコンを使用する場合は、電源ボタンを1回押して電源のオンとオフを切り替えます。

スタンバイからKEF Controlアプリでスピーカーをオンにするために入力ソースを押してください。アクティブなソースアイコンを押してスピーカーの電源を切ります。

注意：Spotify Connectから直接再生してもスピーカーは起動します。

### 2. どうすれば入力ソースを変えられますか？

ソースを切り替えるには、付属の小型専用リモコンまたはKEF Controlアプリを使用できます。

付属の小型専用リモコンの入力ボタンを1回押して入力を切り替えます。

特定の入力に切り替えるには、KEF Controlアプリでソースアイコンを1回押します。各ソースの色は、プライマリースピーカーのLEDの色に対応しています。

### 3. 左右のスピーカーを反転するにはどうすればよいですか。

KEF Controlアプリを開き、[Settings (設定)] > [Enable/disable Inverse L/R Speaker (逆L/Rスピーカーの有効化/無効化)] の順に移動します。

プライマリースピーカーのステータスが右チャンネル (Disabled (無効)) から左チャンネル (Enabled (有効)) に変わります。

### 4. ケーブルモードとは何ですか？

ケーブルモードでは、プライマリースピーカーとセカンダリースピーカー間でのワイヤレス接続が無効となります。

次の場合にケーブルモードが必要となります。

1. お使いのLSXのファームウェアアップデートをする時
2. 96 kHz/24 bitで音楽を聴かれる時
  - ワイヤレスモード: 48 kHz/24 bit
  - ケーブルモード: 96 kHz/24 bit
3. お使いの本機が干渉してワイヤレス接続が出来ない場合

## 5. ケーブルモードの有効/無効にするにはどのようにすれば良いですか？

KEF Control アプリを開き、[Settings (設定)] > [Enable/disable Cable Mode (ケーブルモードの有効/無効)] に移動し、切り替えてください。

この機能を使用するには、スピーカー間ケーブルをプライマリースピーカーとセカンダリースピーカー双方に接続して頂く必要があります。

スピーカー間ケーブルを接続せずにケーブルモードを有効にすると、プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーのLEDが水色と黄色に交互に点灯します。これは、お互いを見つけることができないことを示しています。

スピーカー間ケーブルが接続されていないときにケーブルモードが無効になっていると、セカンダリースピーカーはワイヤレスペアリングモードに切り替えるための信号を受信しません。セカンダリースピーカーのLEDが黄色と青に交互に点滅します。スレーブの背面にあるP/Sペアリングボタンを1回押します。セカンダリースピーカーはプライマリースピーカーを探し始めます。LEDインジケータ点滅が消えたら、それはスピーカーが接続され正常に作動していることを示しています。

## 6. 自動待機時間は、どのように調整ができますか？

KEF Controlアプリを開き、[Settings (設定)]> [Standby Mode (スタンバイモード)]に移動し、[Never (しない)]または[60 minutes (60分)]に設定します。

「Never (しない)」に設定した場合、スピーカーの電源は自動的に切れません。手動でスピーカーの電源を切るのを忘れないでください。

## 7. 「Enable limitation (制限を有効にする)」という事はどういうことですか？

音量設定で制限を有効にすると、スピーカーの最大音量を適切なレベルに調整することです。たとえば、制限を有効にして音量制限を50に設定した場合、音量を50以上に調整することはできません。

## 8. 最大音量制限を有効にできますか？

KEF Controlアプリを開き、[Settings (設定)] > [Volume Settings (音量設定)] > [Enable Limitation (制限を有効にする)]に移動して、有効化します。

## 9. ハードウェアの音量ボタンの機能は何ですか (iOSのみ)？

ハードウェア音量ボタンは、お使いの機器にある音量ボタンを表します。

Wi-Fi経由でストリーミングしている他の音楽アプリとの競合が発生している場合は、iOSデバイスでこの機能を無効にします。

## 10. 音量ボタンの感度は、どのように調整ができますか？

KEF Controlアプリを開き、[Settings (設定)] > [Volume Settings (音量設定)] > [Volume Button Sensitivity (音量ボタンの感度)] に移動し、調整します。

お使いのデバイスのハードウェア音量ボタンを1回押すごとに音量ステップを調整してください。

## 11. KEF Streamアプリを使ってApple Musicコンテンツをストリーミングできますか？

Apple Musicストリーミング購読はサポートされていません。

購入またはインポートした音楽は、オフラインで聴くためにローカルのiTunesライブラリにダウンロードしてからスピーカーにストリーミングする必要があります。

## 12. このスピーカーがサポートしているファイル形式は何ですか？

フォーマット	ファイル拡張子	ストリームタイプ	サンプリング周波数 (kHz)	オーディオワードサイズ (bits)	オーディオチャンネル	ビットレート (kbps)	VBR/CBR
MP3	mp3	MPEG-1/2 Layer-III	8-48	16	2	8-320	サポートされています
WMA	asf, wma	WMA 2/7/8/9/10	8-48	16	2	5-320	サポートされています
LPCM	wav	LPCM	8-192	16, 24	2	-	-
FLAC	flac	FLAC	8-192	16, 24	2	-	-
Ogg Vorbis	ogg	Ogg	8-192	16, 24	2	16-128	サポートされています
AIFF	aiff / aif	AIFF	32-192	16, 24	2	-	-
AAC	m4a aac 3gp 3g2	MPEG-4 AAC MPEG-4 HE AAC (AAC Plus v1/2)	32-96	16	2	16-320	サポートされています
ALAC	m4a	ALAC	32-192	16, 24	2	-	-

## 13. LSXはTVにもつなげられますか？

はい、LSXは高音質の光デジタル入力端子を搭載していますので、ほとんどのTVと光デジタルケーブルを使って接続することが可能です。お使いのTVのデジタルオーディオ出力がPCMフォーマットになっていることをご確認ください（詳細はお使いのTVのマニュアルをご確認ください）。

LSX Aux入力は、一般的なテレビのRCA/3.5 mmアナログ出力に接続できます。

## 14. 私のスピーカーは、どの解像度で再生できますか？

再生解像度は、プライマリースピーカーとセカンダリースピーカー間の接続に依存します。

ワイヤレスモードでは、解像度は48 kHz/24 bitです。48 kHz/24 bitを超えるメディアはダウンサンプリングされます。48 kHz/24 bit未満のメディアはアップサンプリングされます。

ケーブルモードでは、解像度は96 kHz/24 bitです。96 kHz/24 bitを超えるメディアはダウンサンプリングされます。96 kHz/24 bit 未満のメディアはアップサンプリングされます。

## 15. Spotify Connectを使って音楽をストリーミングするには？

Spotify Connectは、Spotifyアプリから直接音楽をストリーミングすることができます。

1. スピーカーをWi-Fiネットワークに接続します。
2. 同じWi-Fi ネットワークに接続しながら、携帯電話、タブレット、またはノートパソコンでSpotifyアプリを開きます。
3. トラックを再生して [Devices Available (使用可能なデバイス)] を選択します。
4. スピーカーを選択して聴き始めます。

Spotify Connectの使用方法とこのサービスを利用可能な国の詳細については、次のWebページ (<http://www.spotify.com/connect>)をご覧ください。

## 16. QPlayを使って音楽をストリーミングする方法を教えてください。

QQ Musicは、中国で最も人気のあるオンラインミュージックストリーミングサービスの1つです。QPlayを使用すると、QQ Musicアプリから直接音楽をストリーミングできます。

QPlayの使い方

1. iOS / Androidデバイスとスピーカーを同じネットワークに接続します。
2. QQ Musicアプリを開き、[設定 (Settings)] でQPlayを有効にします。
3. トラックを演奏します。
4. 再生中のページのQPlayアイコン「Q」を押して、デバイスリストからスピーカーを選択します。

QQ Musicの詳細については <https://y.qq.com>を参照してください。

## 12.3 KEF Control アプリとKEF Stream アプリ

### 1. KEF ControlアプリとKEF StreamアプリでサポートされているAndroidの最小バージョンは何ですか？

KEF ControlアプリはAndroid 4.4以上をサポートしています。

### 2. KEF ControlアプリとKEF Streamアプリでサポートされている最小限のiOSバージョンは何ですか？

KEF Controlアプリは、iOS10以上に対応しています。

### 3. KEF ControlアプリとKEF Streamアプリの違いは何ですか？

KEF Controlアプリは、LS50 WirelessとLSX用のセットアップとリモートコントロール機能を提供します。

KEF Streamアプリを使用すると、ローカルライブラリ、メディアサーバー、TIDAL、Spotify ConnectからLS50 WirelessおよびLSXに音楽をストリーミングできます。

## 12.4 メンテナンス

### 1. スピーカーコーンを綺麗にするにはどうしたら良いですか？

ドライバーを汚れから守り、光沢や音響性能を確保するためには、定期的な清掃が重要です。静電気防止クリーナーを使用して、Uni-Qドライバを柔らかいスポンジで丁寧に清掃します。

### 2. 布地の部分はどうに掃除すればよいですか？

#### 通常のクリーニング

通常のクリーニングは外観の品質を保つため、そして末長くお使いいただくためにも大切です。掃除機でソフトなブラシを使って頻繁に（目安は週に一度）掃除することをおすすめします。

#### 汚れた場合

付着した液体や汚れを除去してください。場合によっては掃除機を使用してください。

吸収性の高いナプキンや布などで液体をふき取ってください。

ぬるま湯につけてよく絞った糸くずのない布またはスポンジで慎重に拭き取って、シミ（油由来でないもの）を取り除きます。糸くずのない布で汚れの中心に向かって円を描くように軽くたたくと、汚れの痕が残りにくくなります。油汚れの場合は、適切な洗剤または溶剤を使用してください。すべての場合において、まず目立たない場所で汚れ除去剤を試し、布地に影響がないかどうか確認されることを推奨します。

#### 警告

- 1) 色が落ちたり、布を傷めたりする可能性がありますので、布地を強くこすらないでください。
- 2) 硬い材料用の洗剤や洗剤は使用しないでください。

## 12.5 コメントとリクエスト

### 1. 機能リクエストがありますが、どこでリクエストを送信できますか？

お客様のリクエスト等をこちらのメールアドレス [dev@kef.com](mailto:dev@kef.com)宛にメールを送信してください。

## 12.6 トラブルシューティング

### 1. セカンダリスピーカー側のLEDが動いていないのですが、問題ありますか？

通常の操作ではスレーブ側スピーカーのLEDは点灯しません。問題が発生した場合のみ点灯します。

### 2. セットアップ中にWi-Fiリストに私のLSXが見つからない (ステップ3) 、どうすればいいですか？

電源を入れてからLSXが検出可能になるまでに最大1分かかる場合があります。それでもしばらくしてもLSXが見つからない場合は、工場出荷時設定にリセットしてください。

1. クリップ / ピンを使ってプライマリースピーカーの背面にあるリセットボタンオレンジ色に点滅するまで (三角形の印が付いているボタン) を約5秒間押し続けます。背面のLEDが点滅しなくなるまで待ちます。
2. アプリを完全に閉じます。
3. プライマリースピーカーから電源ケーブルを抜きます。
4. 約60秒待ちます。
5. 電源ケーブルを取り付け直します。
6. プライマリースピーカーのLEDが白とオレンジに交互に点灯します。LSXが検出可能になるまで最大1分かかる場合があります。
7. KEF Controlアプリを開き、[Setup New Speaker (新しいスピーカーの追加)] を選択して指示に従います。

問題が解決しない場合は、以下を確認してください。

LSXはチャンネル1の2.4Gで送信します。もしルーターがチャンネル1の2.4Gでも送信している場合、LSXを確認できないかもしれません。ルーターを別のチャンネルに変更してみてください (詳細についてはルーターのマニュアルを参照してください) 。

Wi-Fiの検出を妨げる可能性があるため、スマートフォンのVPNアプリを無効にしてください。

問題が解決しない場合は、KEF Controlアプリ内から問題の説明を記載したログを送信するか [Settings (設定)] > [Send Logs & Feedback (ログとフィードバックの送信)]、または [support@kef.com](mailto:support@kef.com)にお問い合わせください。

### 3. セットアップ中にKEF ControlアプリにWi-Fiネットワークが表示されません (ステップ4)。どうすればいいですか。

アプリでWi-Fiネットワークが表示されているかをスピーカーで確認します。スピーカーからネットワークが認識できない場合は、プライマリースピーカーをルーターの近くに移動します。それでも問題が解決しない場合は、プライマリースピーカーとルーターをLANケーブルで直接接続してください。

それでもセットアップ中にアプリがWi-Fiネットワークを認識できない場合は、KEF Controlアプリ内からログを送信するか [Settings (設定)] > [Send Logs & Feedback (ログとフィードバックの送信)]、または [support@kef.com](mailto:support@kef.com) にお問い合わせください。

### 4. 私が使用しているLSXがネットワーク内に表示されません。どうすればよいですか。

スピーカーの電源が入っていて、すでにネットワークに接続されていることを確認してください。プライマリースピーカーのLEDは単色でなければなりません。

1. スピーカーが搭載されているネットワークに接続していることを確認します
2. スピーカーを選択して「接続する (Connect)」を押します。
3. KEF Controlアプリを開き、[Add new speaker (新しいスピーカーの追加)] > [Connect to existing (既存のものに接続)] > [Search again (もう一度検索)] に移動します。
4. スピーカーがネットワークに表示されない場合は、次の手順を実行します。
  - プライマリースピーカーとセカンダリースピーカーの両方から電源プラグを抜きます。
  - 約60秒待ちます。
  - 両方のスピーカーを電源に接続します。
  - KEF Controlを実行します。
  - スピーカーのドロップダウンメニューからスピーカーを選択します。

問題が解決しない場合は、KEF Controlアプリを開き、[Settings (設定)] > [Send Logs & Feedback (ログとフィードバックの送信)] から問題の説明を記載したログを [dev@kef.com](mailto:dev@kef.com) 宛に送信してください。

### 5. KEF Controlアプリにバグや問題があります。どうやってこの問題を報告すればよいですか？

KEFは最高のユーザーエクスペリエンスをご提供するため、バグのないアプリをお届けできるよう日夜努力しておりますが、他機器やファームウェア、ネットワーク設定等での使用環境により、改善が出来かねる場合は、私たちKEFはお客様からのお問い合わせ等から立証し、バグの改善に努めております。

問題が発生したアプリ内の「ログとフィードバックを送信」オプションを使用してください。KEF Streamアプリ内に問題が見つかった場合はKEF Streamアプリを使用してログを送信し、KEF Controlアプリに問題が見つかった場合はKEF Controlを使用してログを送信してください。

お客様が遭遇した問題点の詳細、動画、写真などを説明文に添えてご提供下さることで、より多くの情報が収集され、より簡単に問題の根本原因を特定する事ができます。ご協力の程、何卒宜しくお願い致します。

## 6. 左右どちらのスピーカーからも音が出ません。

1. 本機に電源ケーブルがスピーカーとACソケット部の両方にしっかりと差し込まれていることを確認してください。正しく接続されると、プライマリースピーカーのLEDが点灯します。
2. 音量がミュートになっていないことを確認してください（ソースLEDが点滅します）。
3. KEF Controlアプリまたは付属の小型専用リモコンで音量を調整してみます。

問題が解決しない場合は、最寄りのKEF代理店にお問い合わせいただくか、メール ([support@kef.com](mailto:support@kef.com)) にてご連絡ください。

## 7. 私のセカンダリースピーカーから音が出ません。

1. 電源ケーブルがスピーカーとACソケットの両方にしっかりと差し込まれていることを確認してください。正しく接続されますとセカンダリースピーカーのLEDがオレンジ色に短く点灯してから消えます。
2. 音量がミュートになっていないことをご確認ください（プライマリースピーカーのソースLEDが点滅します）
3. KEF Controlアプリまたは付属の付属小型リモコンの音量を調整してみてください。

問題が解決しない場合は、最寄りのKEF代理店にお問い合わせいただくか、メール ([support@kef.com](mailto:support@kef.com)) にてご連絡ください。

## 8. 音楽を聴いていた時に、音が聴こえなくなりました。

スピーカーから突然音が聴こえなくなった場合は、主にネットワーク接続の不良が原因である可能性があります

1. 5Gでの接続をお勧めします。
2. ルーターを視野の範囲内に保つことをお勧めします。
3. それでも問題が解決しない場合は、ルーターからLANケーブルを介して、直接スピーカーを接続してみてください[(N)ネットワークポート]。

## 9. 使用しているセカンダリースピーカー側からの音が突然聴こえなくなりました。

ワイヤレスペアリング技術は2.4 GHzの周波数で動作します。ルーターでのネットワーク設定時に2.4Gではなく、5Gでのネットワーク設定でスピーカーを接続することをお勧めします。

ルーターから2.4 GHz帯で設定をした場合、同じ2.4 GHz帯で動作する電子レンジ、コードレス電話、Bluetooth、マウス、またはWi-Fiデバイスなどのデバイスは、干渉を引き起こし回線が落ちる可能性がございます。もし上記の2.4 GHz帯を発信する機器を接続している場合は、それらの機器を取り外してみてください。ネットワークアナライザアプリを使用して、ネットワークやその干渉状態を確認することもできます。

問題が解決しない場合は、スピーカー間ケーブルをプライマリースピーカーとセカンダリースピーカーに差し込んでケーブルモードを使用してください。KEF Controlアプリを開き、以下の設定を行ってください。[Settings (設定)] > [Enable Cable Mode (ケーブルモードを有効にする)]

## 10. ビデオとオーディオの出力が遅れます。

スピーカーがワイヤレスでペアリングされている場合、40ミリ秒程の音声遅延があります。これは、プライマリースピーカーと右スピーカーの間のオーディオが同期していることを確認するためです。

また、音声遅延を補正できるテレビやビデオプレーヤーのアプリ (VLCなど) がいくつかあります。あるいは、スピーカー間ケーブルをプライマリースピーカーとセカンダリースピーカーに接続して、ケーブルモード (Cable Mode) を使用することで音声遅延を低減することも可能です。KEF Controlアプリを開き、以下の設定を行ってください。[Settings (設定)] > [Enable Cable Mode (ケーブルモードを有効にする)]

## 12.7 工場出荷時設定へのリセット

1. ペーパークリップ / ピンを使用して、プライマリースピーカーの背面にあるLEDがオレンジ色に点滅するまで、リセットボタン (三角形の印付き) を約5秒間押し続けます。LEDライトの点滅が停止するまでお待ち下さい。
2. プライマリースピーカーのLED インジケーターが白色とオレンジ色に点滅します。
3. KEF Controlアプリを起動し、アプリの指示に従いスピーカーを設定してください。

## 12.8 LED インジケーター

プライマリスピーカーとセカンダリスピーカーのLEDインジケーターの色とパターンで、接続と動作状態を簡単に確認できます。下の表を参照してください。

スピーカ	カラー表示	状態
マスター	 白色とオレンジ色が交互に点滅	セットアップモード: LSXはWi-Fiネットワークに設定する準備が来ています。スピーカーを設定するにはKEF Controlアプリを起動してください。
マスター	 オレンジ色がゆっくりと点滅	スタンバイモード: スピーカーはスタンバイ状態にあり、Wi-Fiネットワークに接続しようとしています。
マスター	 オレンジ色に点灯	スタンバイモード : スピーカーはスタンバイ状態にあり、Wi-Fiネットワークに接続中です。
マスター	 オレンジ色の点滅が早い場合	<p>スピーカーがネットワークに接続できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルーターの電源が入っていることを確認してください。</li> <li>プライマリスピーカーをルーターの近くに移動してください。問題が解決しない場合は、LANケーブルでプライマリスピーカーをルーターに接続してください。</li> <li>これがネットワーク接続直後に起こった場合は、Wi-Fiパスワードは正しくない可能性があります。工場出荷時設定のリセットを実行し「<a href="#">工場出荷時設定へのリセット</a>」の章を参照、再度接続プロセスをお試しください。</li> </ul>
マスター	 白色に点灯	スピーカーはWi-Fiモードで作動しています。
マスター	 青色に点灯	スピーカーはBluetooth モードで作動中です。デバイスはすでにスピーカーとペアリングされています。
マスター	 青色にゆっくりと点滅	スピーカーはBluetooth 検出モードにあり、Bluetoothデバイスとペアリングする準備が来ています。
マスター	 緑色に点灯	スピーカーはSpotify Connect モードです。
マスター	 紫色に点灯	スピーカーは光入力モード です。
マスター	 黄色に点灯	スピーカーはAUXモードです。

スピーカー	カラー表示	状態
マスター	● 白色が点滅	スピーカーはWi-Fi モードであり、ミュートになっています。
マスター	● 青色が点滅	スピーカーはBluetooth モード であり、ミュートになっています。
マスター	● 紫色が点滅	スピーカーは光入力モードであり、ミュートになっています。
マスター	● 黄色が点滅	スピーカーはAUXモード であり、ミュートになっています。
マスター	● 白色と青色が交互に点滅	<p>プライマリスピーカーがセカンダリスピーカーを検索するワイヤレスペアリングモードになっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. KEF Controlアプリ内でケーブルモード が無効になっていることを確認してください。[Settings (設定)] &gt; [Cable Mode (ケーブルモード)]の順にクリックしてください。</li> <li>2. セカンダリスピーカーの(M)P/S Pairingボタンを1回押します。セカンダリスピーカーはプライマリスピーカーを検索して再接続してください。</li> </ol>
マスターおよびスレーブ	● 水色と黄色が点滅	<p>ケーブルモードが有効であるため、スピーカー間の接続が中断されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スピーカー間ケーブルがプライマリスピーカーとセカンダリスピーカーの間に接続されていることを確認してください。</li> <li>2. スピーカー間ケーブルが正しい接続ポートに挿入されていることを確認してください。プライマリスピーカーでは「(T) To P/S」、セカンダリスピーカーでは「(T) To P/S」です。</li> </ol>
スレーブ	LEDランプ点滅なし	セカンダリスピーカーは正常に作動しています。
スレーブ	● 白色と青色が点滅	<p>セカンダリスピーカーがプライマリスピーカーを検索するワイヤレスペアリングモードになっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. KEF Controlアプリ内でケーブルモードが無効になっていることを確認します。[Settings (設定)] &gt; [Cable Mode (ケーブルモード)]の順にクリックします。</li> <li>2. プライマリスピーカーの (M) P/S Pairingボタンを1回押します。プライマリスピーカーはセカンダリスピーカーを検索して再接続します。</li> </ol>

スピーカ カラー表示	状態
<p>マスター および スレーブ</p>  赤色が <u>ゆっくり</u> と点滅	<p>ファームウェアのアップデート処理に失敗しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 両方のスピーカーから電源ケーブルを抜いてください。</li> <li>2. 約60秒待ちます。</li> <li>3. 電源ケーブルを両方のスピーカーに差し込みます。</li> <li>4. KEF Controlアプリでファームウェアのアップデートをもう一度実行します。</li> </ol> <p>問題が解決しない場合は、KEF Controlアプリを開き、[Settings (設定)] &gt; [Send Logs &amp; Feedback (ログとフィードバックの送信)]からログを送信するか <a href="mailto:support@kef.com">support@kef.com</a> にご連絡ください。</p>
<p>マスター および スレーブ</p>  赤色の点滅が <u>早い</u> 場合	<p>システムエラーです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 両方のスピーカーから電源ケーブルを抜いてください。</li> <li>2. 約60秒待ちます。</li> <li>3. 電源ケーブルを両方のスピーカーに差し込みます。</li> <li>4. プライマリースピーカーのLEDがオレンジ色にゆっくり点滅していることを確認します。これは、スピーカーがネットワークに接続しようとしていることを示します。</li> </ol> <p>問題が解決しない場合は、最寄りのディーラーへご連絡ください。</p>
<p>マスター および スレーブ</p>  白色、青色、紫色および黄色が点滅	<p>ファームウェアは更新中です。ファームウェアのアップデートが完了するまで、電源ケーブルを抜かないでください。ファームウェアのアップデート中に問題が発生した場合は、処理を中断して最寄りのKEF代理店もしくはお近くの KEF ディーラーへご連絡ください。</p>

## 13. 仕様

モデル	LSX	
タイプ	ワイヤレススピーカー	
ドライバーユニット	Uni-Q ドライバーアレイ: HF: 19 mm (0.75 in.) アルミドーム LF/MF: 115 mm (4.5 in.) マグネシウム/アルミ合金コーン	
周波数特性 (-6 dB) 85 dB/1 mで測定	49 Hz-47 kHz (低音伸張モード) 52 Hz-47 kHz (スタンダード) 55 Hz-47 kHz (低音制御モード) スピーカー設定によって異なる	
周波数特性 (±3 dB) 85 dB/1 mで測定	54 Hz-28 kHz (低音伸張モード) 59 Hz-28 kHz (スタンダード) 69 Hz-28 kHz (低音制御モード) スピーカー設定によって異なる	
電源入力	100-240 VAC 50/60 Hz	
アンプ出力	LF: 70 W HF: 30 W	
最大出力 (SPL)	102 dB	
寸法 (高さ×幅×奥行き)	240 × 155 × 180 mm (9.5 × 6.1 × 7.1 in.)	
解像度	最大192 kHz / 24 bit 音源の解像度により異なる	
マスターとスレーブ スピーカーの接続方法	ワイヤレス: 独自開発の2.4 GHz ワイヤード: 独自のRJ45 接続 接続設定により異なる	
	<b>プライマリースピーカー</b>	<b>セカンダリースピーカー</b>
入力	2.4 GHz/5 GHz デュアルバンド Wi-Fiネットワーク Bluetooth 4.2, aptX® コーデック TOSLINK 光入力 3.5 mm AUX入力 RJ45 10/100 Mbps Ethernet (ネットワーク用)	未対応
出力	サブウーファー出力 5 V, 2 A DC 出力	未対応

Wi-Fi ネットワーク標準	IEEE 802.11a/b/g/n	未対応
Wi-Fi ネットワーク 周波数帯	デュアルバンド 2.4 GHz/5 GHz	未対応
Bluetooth 通信範囲	10 m	未対応
Bluetooth 登録可能台数	8 機器	未対応
Bluetooth 周波数帯	2.402 GHz-2.48 GHz	未対応
Bluetooth 出力	2.5 mW   (Bluetooth クラス 2 機器)	未対応
重量	3.6 kg (7.9 lbs)	3.5 kg (7.7 lbs)

ワイヤレスのパフォーマンスは、ネットワークのトラフィック、アクセスポイントからの距離、使用する部屋の構造や壁の素材、他の電波との干渉、その他多くの要因に左右されます。

詳細およびトラブルシューティングについては、KEFのウェブサイト: [KEF.COM](http://KEF.COM)を参照してください。

KEFは、予告なく、継続的な研究と開発に基づいて製品仕様を改正または変更する権利を有します。脱漏による誤謬、不作為の誤りはこの限りではありません。

## Bluetooth®

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。その他の商標とトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



Qualcomm aptX は、Qualcomm Technologies International, Ltd.の製品です。

Qualcomm は米国およびその他の国で登録されたQualcomm Incorporatedの商標であり、許可を得て使用しています。aptX は、米国およびその他の国で登録された Qualcomm Technologies International, Ltd., の商標であり、許可を得て使用しています。

## 14. 廃棄について

### 14.1 梱包材の廃棄

梱包材を分別してから廃棄してください。板紙と段ボールは紙リサイクルサービスに、包装紙は適切なゴミ回収サービスに出して処分してください。

### 14.2 スピーカーの廃棄

**古い電化製品は家庭ごみとして捨てることはできません！**

スピーカーが使用できなくなった場合は、お住まいの市町村の定める条例または規則に従って廃棄してください。これにより、古い電化製品は専門的な方法でリサイクルされ、環境への悪影響も排除されます。

### 14.3 バッテリーの廃棄

**電池は家庭ごみと一緒に捨てないでください！**

環境に優しい方法でバッテリーを処分できるように、有害物質\*を含むかどうかにかかわらず、エンドユーザーとしてすべてのバッテリーを公的機関が管理する収集場所または小売業者へ持ち込むことが法律で義務付けられています。

\* 次の表記のあるもの： Cd = カドミウム、Hg = 水銀、Pb = 鉛

# 15. 付録

## 15.1 表示マークの説明

### 15.1.1 警告・注意マーク



正三角形の中に矢印の付いた稲妻が描かれたこのマークは、本製品内部に人体に感電の危険をもたらす可能性が高い「危険な高電圧」の部品があることをユーザーに警告するためのものです。



正三角形の中に「!」が描かれたこのマークは、本製品に添付されている資料の中に、操作とメンテナンス（サービス）に関する重要な記載があることをユーザーに警告しています。

### 15.1.2 国・地域別マーク

#### ヨーロッパ及び北アメリカ



このマークは、本製品がEU全体において一般的な家庭ごみと一緒に廃棄すべきではないことを示しています。規制に従わない廃棄物処理による環境または身体への悪影響を防ぐため、責任を持ってこの製品をリサイクルし、持続可能な材料資源の再利用に貢献しましょう。

使用済みの機器を廃棄には、適切な回収システムを利用するか、この製品を購入した販売店に連絡してください。



このマークは、本製品が欧州経済領域で適用されるコミュニティ指令/規則にすべて準拠していることを示しています。



この ULマークは、本製品の代表サンプルがULの要求事項を満たしていると認定されたことを示しています（カナダ、アメリカ合衆国）。



この ULエネルギー認証マークは、本製品がULの定めるエネルギー効率の要件を満たしており、米国およびカナダ市場の技術的および法的要件を満たしていると認定されたことを示しています。



このFCCマークは、本デバイスからの電磁妨害が米国の連邦通信委員会が承認した制限規定を準拠していることを証明しています。

#### アジア太平洋地区



このマークは、オーストラリア連邦、ニュージーランドにおけるRMCマークと呼ばれており、本製品がACMAの関連ガイドライン、および電気機器の安全性に関する政府の要件に準拠していることを示しています。

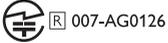


このマークは、本製品がシンガポール消費者保護登録制度の指定した安全要件を満たしていることを示しています。

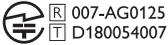


Imported by  
KEF JAPAN

この日本PSEマーク認証は、本製品が「電気用品安全法（DENAN）」の技術的要件を満たしていることを示しています。



これらのマークは、日本において通信端末装置の技術的および設計上の要件に準拠していることを示しています。



この韓国認証マークは、本製品が韓国の電気機器および電子機器に関する製品安全要件に準拠していることを示しています。



中国強制製品認証マークは、本製品が中国国家規格（Guobiao）の安全要件を満たしていることを示しています。



本製品は海拔2,000 m未満の地域（中国）での使用に限り適しています。



RoHS（中国）: この製品は特定有害物質を含んでおり、環境保護使用期間中(10年)は安全に使用できます。環境保護使用期間経過後のスピーカーはリサイクルシステムに入れましょう。



RoHS（台湾）: この記号は、本製品が特定の有害物質が指定濃度の限度を超えていないことを意味しています。



この製品は、台湾国家通訊傳播委員会（NCC）から低電力無線周波数機器の認定を受けています。



このMCMC認定マークは、本通信機器がマレーシアの「通信およびマルチメディア（技術基準）に関する規則2000」に従った規格に準拠していることを認証されたことを示しています。

## 15.2 ホームオートメーション・コントロールシステムとの統合

LSXを最も一般的なホームオートメーション・コントロールシステムに統合するドライバーはダウンロードすることができます。

Control 4	<a href="https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-driver-control4/">https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-driver-control4/</a>
Crestron	<a href="https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-for-crestron/">https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-for-crestron/</a>
Elan	<a href="https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-driver-elan/">https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-driver-elan/</a>
RTi	<a href="https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-for-rti/">https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-for-rti/</a>
Savant	<a href="https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-profile-savant/">https://intrinsicdev.com/downloads/kef-ls50w-profile-savant/</a>



上記ドライバーに関するサポートや詳細情報は、私たちの開発パートナーである Intrinsic(DEV) に直接お問い合わせください：  
<https://intrinsicdev.com/>

### インテグレータと開発者のための重要な情報:

- これらのドライバーはストリーミングを制御しません (アプリによって処理されます)。
- LSXはWake On LAN (WOL) をサポートしています。
- IPコントロールを介して次のコマンドを使用できます。
  1. 入力選択
  2. ボリューム +/-
  3. ミュート切替

## 15.3 IR コマンドコード

お手持ちのリモコンがKEFの IRコマンドコード搭載のユニバーサルプログラマブルリモコンでしたら、そのリモコンを使ってLSXスピーカーを操作することができます。

以下の表がリモコン操作に必要なコマンドコードです。

<b>コードフォーマット:</b>	NEC
<b>ファクトリーコード:</b>	0×01

	機能	機能コード
1	電源オン / オフ切替	0×40
2	ミュート/ミュート解除切替	0×20
3	再生 / 一時停止	0×18
4	次に進む	0×52
5	ソース切替	0×58
6	音量大	0×60
7	音量小	0×A0
8	前に戻る	0×D2
9	電源オン	0×38
10	電源オフ	0×3A
11	ミュート	0×48
12	ミュート解除	0×4A
13	ソース: Wi-Fi	0×30
14	ソース: Bluetooth	0×2A
15	Bluetoothのペアリング	0×98
16	ソース: AUX	0×02
17	ソース: 光デジタル	0×0A
18	ソース: USB	0×1A
19	音量プリセット(30%)	0×78

より詳細のサポートについては、[kef.com](https://www.kef.com)にアクセスしてください